

令和 6 年度 事業報告

もとまちブロック

国分寺市立もとまち児童館
国分寺市立第一・第二東元町学童保育所
(労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団)

令和 7 年 5 月 30 日

目 次

1. 管理業務等の体制及び実施状況(管理業務及び自主事業)
2. 決算状況等及び施設の利用実績(決算収支状況、公の施設の利用実績(利用者数、利用率))
3. 従事者育成に掛かる研修実施状況
4. 利用者意見及び自己評価(利用者アンケート調査結果、事業実施状況自己評価)
5. 苦情対応にかかる記録
6. 事業計画書に掲載した計画の実施状況
7. その他管理の実態を把握するために必要な事項

1. 管理業務等の体制及び実施状況(管理業務及び自主事業)

(1) 管理業務等の体制※別紙①1_1「職員名簿」添付

もとまち児童館・・・館長1名、主任1名、常勤者1名、非常勤者
第一・第二東元町学童保育所・・・責任者1名、常勤者3名、非常勤者

(2) 各施設運営

●もとまち児童館の運営

①利用者協議会（モッチートーク）

6月・12月と乳幼児親子、小学生以上と話し合いを行った。乳幼児親子からは、遊具の充実や、行事の時間を早めてほしいという意見があがった。小学生以上からは希望のマンガや、遊戯室の遊びの時間の変更などといったような意見を聞く事ができた。自分たちがこの児童館をどうしていきたいのか、利用者が主体的に発言できるよう配慮し、話し合いを進行していった。

②もとまちじどうかんノート

他の人が見た時に嫌な気持ちにならない内容である事、個人情報は書かない事を決まりとし、来館者が自由に意見を書けるようノートを常設。このノートをきっかけに、マンガや塗り絵の種類を増やしたり、イベントを実施したりした。思いを伝える事の大切さを学んでもらい、それを形にする事で、職員との信頼関係を構築するきっかけとなつた。

③児童館だより（モッチーフうしん）

令和6年4月～令和7年3月まで月1回、計12回発行、またおまつりの前には臨時号を発行し、計13回情報の提供を行つた。また、館内の掲示を見やすく、分かりやすくし、児童館利用者に周知するようにしている。

④地域の民生委員や町内会、ボランティアの方々との連携

親子のお話し会、けん玉、おもちゃや病院のボランティアの方々にご協力いただき、普段の活動を支えてもらつてはいる。また、おまつり、館庭での栽培、収穫体験、マジックショー、もちつき大会など、普段の児童館では味わえない体験や、ボランティアの方と一緒に行う行事の実施を通して、地域の方々と共に子どもたちの成長を見守る機会となつた。



●第一・第二東元町学童保育所の運営

①保護者会

第一・第二東元町学童保育所の保護者会を7月・3月に開催し、計2回実施することができた。学童保育所での子どもたちの様子や学童からのお願いなど、日々の対応ではお伝えしきれない部分、保護者の悩みや疑問にもお答えすることができた。少しでも子どもたちの様子を知つてもらうために、学童保育所の入り口や窓に

作品を展示して、外から見られるように工夫した。更にお迎え時の保護者対応の際や、お電話を頂いた際に様子を伝えるなど、積極的に情報を発信するようにした。

保護者会を開催したことにより、普段お迎えに来られない保護者方も参加することができ、家庭での様子を知ることができた。

更にそれを保育に反映させることで、利用者とともに学童保育所の保育運営を進めることができた。

②学童だより

令和6年4月～令和7年3月まで計11回(7月8月は合併号)を発行した。

(3) 自主事業(各施設の育成指導を含む) ※別紙②2_2「自主事業実施状況一覧」添付

●もとまち児童館

【イチゴ狩り もとまちファミリーDAY】

4月27日、市内農園(中村農園)のご好意で幼児親子向け行事として実施。おたより、HPだけの告知にもかかわらずもとまち地域以外の参加者も多く、開始10分で申込み受付が終了となってしまった。参加者は職員による西国分寺駅からの引率と現地集合で参加し、農園さんのこくべじのお話しと用意してくれた紙芝居を職員が読み聞かせをし、イチゴ狩りを楽しんだ後、職員によるこくべじジャンケン大会という流れで終了した。遠方からの参加者も、もとまち児童館に興味を持つてもらえる良い機会にもなった。

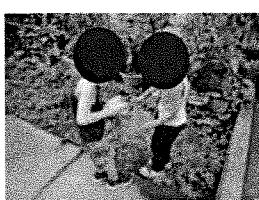


【もとまちM-1グランプリ】

4月8日～6月15日の期間に、児童館の利用者及び3施設(第一・第二東元町学童保育所、第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、国分寺駅北口和みっこクラブ(民設民営)の学童利用者の中から参加を募り、それぞれに用紙を渡し、マスコットキャラクターの図案や名前を制作してもらった。職員が厳選した候補の中から利用者に投票してもらい、児童館のマスコットキャラクターを決定した。児童館だけでなく、学童利用者の多くの子どもたちに児童館に興味をもってもらえる機会となった。

【もとまち自然探険 ～小農&ムシムシタイム～】

5月1日～令和7年3月29日にかけて、児童館の館庭にプラセンターをおいて、乳幼児親子や小学生たちと一緒に水やりや収穫を行った。野菜を育てる楽しさや食の大切さを学ぶ体験学習となった。地域の方と一緒にカブトムシを捕獲するイベントを今年も行ったが、アクシデントで1匹も獲れない事態となったところ、偶然にも国分寺市教育委員会の方が個人でカブトムシを譲って下さり、とても助かった。また外国で生息するカブトムシやクワガタを飼育し、職員と利用者で一緒にエサやりをした。口コミで見に来たという利用者も多く、利用者親子が手を持って撮影するなど、人気のイベントとなった。



【もとまち日曜開館 ～ゆったり Sunday～】

5月5日、9月22日、2月23日の計3回実施した。

以前から要望のあった日曜開館を年3回で実施。各回ごとに職員の持ち味を活かしたブースを作り行い、2月には東元町学童保育所の職員と連携を取って行うなど参加者にとって印象に残った行事となった。次年度は通常開館の形を取りながら工夫加えた開催方法を考えている。



【夏休み学習広場】

夏休み期間中の8月6日、13日、20日、27日の午前中の計4回実施した。

勉強場所として利用する子どもだけでなく、おたよりを見て参加するようにすすめた保護者もいて、参加した子どもは真面目に取り組んでいた。今後は学生ボランティアの活用も検討していきたい。

【こくべじおりょうり！(もとまちファミリーDAY)】

9月14日、市内の農園(清水農園)やJAのご好意でいただいた野菜を使って職員が作ったスープを提供、利用者親子や職員みんなで食卓を囲んだ。親子での参加が多く、こくべじにおける児童館の活動をパネル展示したところ、とても好評で地域との繋がりを知ってもらう良い機会となつた。



【夜の児童館体験】

11月30日に実施。遊戯室を暗くし、ワイヤーや暗幕などで分けた光と暗闇のゾーンの中を、職員や中高生による子どもスタッフのエスコートで探検した。スタッフ多くの子ども達が参加して、企画、準備から手伝ってくれて職員との距離感がより縮まった。参加者の中には泣いてしまう子どももいたが「楽しかった」「また参加したい」という声が多く、定番の行事となりつつある。



【新春マジックショー&昔あそび】

1月7日、地域のボランティアの方をお招きし、利用者や学童児童の前でマジックを披露してもらった。参加者はボランティアさんが繰り出すマジックに驚きの歎声をあげていた。また後半の昔あそびコーナーでは、職員による花豆つかみやコマコーナー、ボランティアさんによるマジックを教えてくれるコーナーなど、どれもが好評で利用者と地域の方を繋げる良い機会となった。



●第一・第二東元町学童保育所

【ふれあいカフェ】 計46名

6月29日 3年生対象 17名

10月19日 1年生対象 14名

1月25日 2年生対象 15名

在籍人数が多いため学年ごとに実施した。今回は、おたより・ポスター・各学年への声掛け・お迎えの保護者へのお誘いの声掛けで参加を募り、予約制にはせず、気軽に立ち寄ってもらえるようにした。日々学童で提供しているおやつを食べてもらいながら、普段子どもたちが遊んでいるおもちゃやゲームを親子・兄弟で遊んで触れ合いを楽しんでもらった。

その中でも兄弟と一緒に来られた家族が多く、卒所生や来年度入所予定の家族が立ち寄ってくださり、卒所生は懐かしみながら過ごし、来年度入所予定の家族は「事前に見学も兼ねて参加することが出来て、安心しました。」とのお声をいただいた。

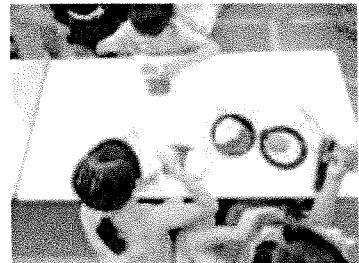


【ランチボックスの日】計 106 名

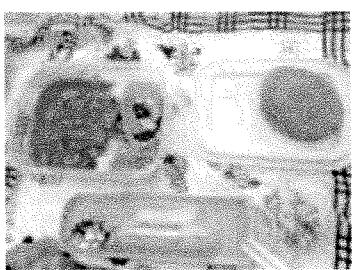
長期休業期間（一日保育）にお昼の提供をすることで、保護者の負担軽減を図り、地域のお店を利用することで、地域との繋がりを持つことを目的に実施した。

・ 8月 15日 41名

持参したご飯にカレーをかける、もしくは空のお弁当箱にカレーを入れ、コロッケを乗せるようにした。いつもと異なる昼食になり、子どもたちも楽しそうな様子だった。「美味しいかった！」の声もとても多く、保護者からも感謝の言葉をいただいた。カレーは、野菜や肉などの具材が入っており、子どもたちから好評だった。おかわりのために並ぶ子どもたちが多くかった。おかげのコロッケは子どもたちが食べやすく満足できる量と大きさのものを提供することができた。コロッケも子どもたちから人気で、また食べたいとの声があった。想定していた人数と同程度の登所であったため、残飯等の廃棄物は一切なかった。



・ 3月 28日 65名



地元のお店から食材を調達し、職員で野菜・お肉たっぷりのカレーを作った。今回もご飯を持参し、カレーをかけて提供した。家からコロッケやとんかつを持参する子もいた。おかわりに並ぶ子どもたちが多く、「また食べたい」との声もあった。各回とも「美味しいかった」「また食べたい」という声が多く、保護者からも感謝の言葉をいただき、とても好評だった。

【キッズプログラミングワークショップ 初級編】

11月 16日 19名（子ども 10名、保護者： 9名）※兄弟 1組

地域の講師の方をお招きして、学年を区切らず、初級編ということでプログラミングの体験教室を実施した。今回も定員を 10 組に限定して行い、9 組の参加となった。また、機器を扱うため、保護者同伴での参加をお願いした。講師の方の提案により保護者も一緒にタブレットを使用して体験することができた。

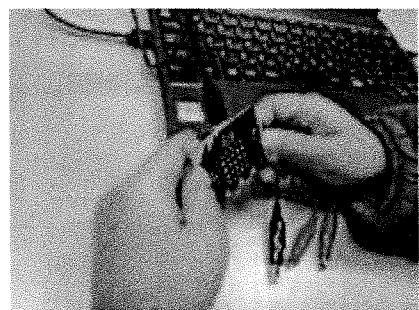
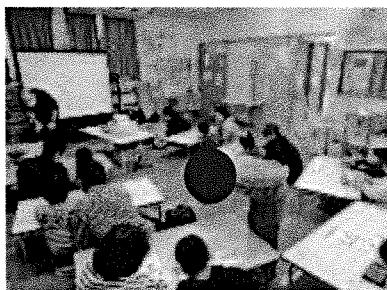
まず講師によるプログラミングの話の後、タブレットのアプリを使用して、実際に自分でアプリ内のロボットに指示を出し、目的地まで動かす操作体験を行い、その後に実際に動くロボットを使った操作体験を親子で挑戦し、楽しみながら体験してもらった。

難しく捉えがちなプログラミングを楽しく体験することで、プログラミングに興味を持ってもらうきっかけとなるだけでなく、親子の絆を深めることもできた。また、今回は対象者を学童保育所在籍児童に限定し、地域の方には、道路に面した学童保育所の入口に会場入口の案内を貼ることで、周知できるように工夫した。

【キッズプログラミングワークショップ 中級編】

2月8日 11名（子ども：6名、保護者：5名）※兄弟1組

地域の講師の方をお招きして、今回は中級編ということでプログラミングの体験教室を実施した。参加者の数を8組にし、5組での開催となった。半導体（マイクロビット）を使い、11月に行った体験教室よりも難易度を少し上げたプログラミング、プログラムの作成、プログラムを物に取り込む体験をしてもらった。参加者は前回の初級編に参加してくれた方もおり、中級編で難易度が上がってもとてもスムーズで、保護者や講師のサポートもあり、楽しく体験することができた。また、今回は実際にプログラムを作成し、作成したプログラムでガチャを作ったり、果物から音を出すという不思議な体験もしてもらった。プログラミングについては、学校の授業で導入されることもあり、保護者や子どもたちの関心も高い様子が伺えた。



【配食サービス利用による昼食提供】

今年度より長期休業期間中における配食サービスを開始した。冬休みから注文時に使用できるアプリを導入し、利用者の携帯から注文・支払いができるシステムを開始した。初めての配食サービスで子どもたちからは「美味しい」「また食べたい」と言いながら美味しそうに食べる姿が見られた。アプリの利便性についても好評であったので今後もより良いサービスを提供できるよう取り組んでいきたい。

(4) 各施設の行事・企画

● もとまち児童館※別紙③ 2_1 「企画事業年間報告書」添付

乳幼児親子対象

【親子の『わ』】

月に1～4回、木曜日の午前10時45分から、30分程度、体操や手遊び、テーマを決めて工作やレクリエーションを実施した。親子のシンシップの場として、また親子同士の出会い、交流、情報交換の場となっている。

実施月 (実施回数)	内容(キャラクターワーク、ふれあい遊び、手遊びは毎回)	幼児	大人	計
4月(2回)	新聞紙遊び	7	4	11
5月(4回)	こいのぼり工作、けん玉遊び	17	16	33
6月(3回)	かたつむり工作、むかし遊び、コマを見てあそぼう	15	13	28
7月(2回)	七夕飾り、お手玉	8	7	15
8月(0回)	夏休み期間のため休み			
9月(2回)	ぶどう作り工作、お手玉	7	8	15
10月(4回)	手形、ハロウィンあそび	28	25	※1 56
11月(3回)	いもほりあそび、音あそび、職場体験の中学生に質問コーナー	7	7	※2 18
12月(2回)	クリスマス会(乳幼児親子対象)	9	8	17
1月(3回)	手形、手あそび、節分	19	15	34
2月(3回)	くるくるコプター、紙コップパクパク、ひなまつり	22	24	46
3月(1回)	おひなさま工作、体を動かした遊び、紙芝居	4	4	8
計 29回				



【幼児向け体操】

毎週火・金曜日の午前10時45分から15分間程度、幼児向け体操と手遊びを取り入れている。今年度から金曜日開催を追加。親子の「わ」、親子お話し会など、平日、午前中の乳幼児向けのイベントを充実させ、親子同士の出会い、コミュニケーションや交流のきっかけづくりの場となっている。計81回実施。参加親子数は467名。

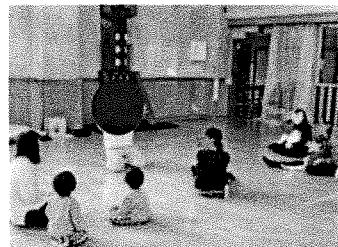
【おやこおはなし会】

月1回(夏休み期間を除く)、木曜日午前10時45分から30分間程度、地域で活動されている東元町文庫の方々に来ていただき、絵本の読み聞かせやわらべ歌にのせたふれあい遊び、季節に因んだ遊びを行なった。計11回実施、親子とボランティアさんを合わせた111名の参加があった。

【親子でA・S O・B O!!】

毎週土曜日午前 11 時から 20~30 分間程度、遊戯室にて実施。土曜日に行う事で、父親の参加や、小学生の飛び込みスタッフ参加と、児童館ならではの、多世代交流の場となっている(8月は夏休み期間のため休み)。今年度の1月～3月まで他現場の職員を講師に迎えた「うめちゃんタイム」を実施。

実施月 (実施回数)	幼児	大人	小学生	計
4月(3)	10	8	1	19
5月(3)	9	12	6	27
6月(5)	33	26	2	61
7月(2)	7	5	3	15
9月(4)	30	26	2	58
10月(4)	9	8	3	20
11月(4)	26	22		48
12月(3)	7	5		12
1月(3)	17	15	4	36
2月(4)	16	15	2	33
3月(4)	18	16	3	37
計 39回				



【もっと！まちカフェ】

毎月1回、第三金曜日の午前中に開催。簡易的なお茶とお菓子を用意し、保護者同士、気軽に話しながら交流をする機会となっている。計11回実施。
参加親子数は101名。

【その他乳幼児親子対象行事】



～チャプチャプしよう(幼児向け水遊び企画)～

7月23日・25日・30日・8月1日・6日・8日・13日・15日の8回を企画。今年度は雨の日も少なくほぼ全日実施し、計72名の親子が参加した。気軽に水遊びをさせる事ができ助かると、保護者から大変好評だった。

～6館合同乳幼児向け行事 とういんくるん♪の音と遊ぼう！リトミック～

9月26日、6館合同で行う親子行事には13組28名の参加があった。参加者親子は講師の奏でるピアノやマリンバの音楽や動きにひきつけられ、とても楽しそうな様子で参加していた。申込期間初日から申込みや問い合わせがあり、関心の高さが伺えた。



～ハロウィンフォトスペース～

ハロウィンの装飾をモールや看板等でデコレーションして、利用者さんが自分で撮影できる場所を作った。場所は通常1階だが、イベント時は2階に移動して密にならないよう工夫した。



【乳幼児親子遠足 もとまち収穫体験】



乳幼児親子対象の遠足として11月10日実施。地域農家さんの畠（小坂農園）にて、児童館職員による引率のもと収穫体験を行った。小坂さんのご厚意でいろいろな種類の野菜を収穫させてもらい、参加者は「こんなに良いんですか！？」とビックリしながらもとても喜んでいた。小坂さんのお子さんたちも一緒に手伝ってくれて終始アットホームな雰囲気に包まれていた。

小学生以上対象

【おりょうりしようよ】

昨年度より再開した料理行事を今年度は隔月で行った（年4回実施）。隣接するさわやかプラザの調理室をお借りし、事前の申し込み制で行う回と以前のように児童館内で行う回を設定し、参加者は皆、大満足の表情で次回も期待していた。

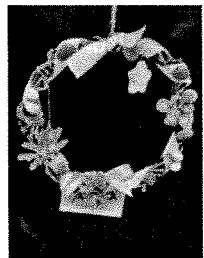
実施日（実施場所）	内容	人数
5月22日（さわやかプラザもとまち）	プラウニーとクッキー	8
7月18日（児童館）	フルーツポンチ	35
12月25日（さわやかプラザもとまち）	手打ちうどん	11
2月14日（児童館）	チョコつとバナナ	37



【わくわく工作】

月に1回、2日間(12月は3回)で実施し、計12種類の内容を提供、
幼児親子から高校生の参加があった。

実施日	内容	人数
4月12日・13日	プラ板	54
5月16日・17日	しおり作り	19
6月7日・8日	スライム作り(わくわくスライム)	51
7月12日・13日	貝殻細工	29
8月20日・21日	夏休みスペシャル～ビーズアクセサリー	63
9月6日・7日	浮沈子工作	35
10月11日・12日	ハロウィン仮面作り	36
11月8日・9日	ビーズ細工	34
12月6日・7日・(14日)	クリスマスリース	29
1月24日・25日	虫笛作り	22
2月21日・22日	アイロンビーズ	38
3月21日・22日	砂絵	57



【みんなであそぼう】

月に1回、小学生以上の子どもたちを対象に、遊びを通しての異学年交流をする機会を設けている。「誰でも簡単に参加できる、わかりやすい遊び」をモットーに決めて行っている。計12回実施。幼児親子から中学生の参加があった。

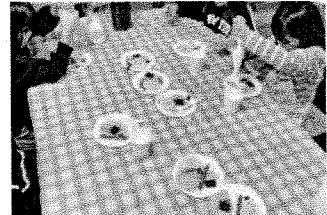
今年度はみんなであそぼうの行事中にクリスマス会も実施。クリスマスに因んだクイズ、ゲーム、職員によるドローン操縦と盛りだくさんの内容で参加者は大いに盛り上がり、今年度も公民館館長に協力していただき、扮装してもらったサンタクロースが登場すると歓声があがった。



実施日	内容	幼児	大人	小学生	中学生	人数
4月17日	いろんなオニごっこ			18	11	29
5月29日	ムカシあそび	1	1	20		22
6月19日	3ぼアテ			22	4	26
7月24日	新聞紙雪合戦			25	3	28
8月24日	夏休みスペシャル～水遊び～	1		13		14
9月25日	ばくだんオニ			42	4	46
10月23日	新聞紙雪合戦R			29	3	32
11月20日	バランスパーク	1	1	27		29
12月18日	クリスマス会			29		29
1月29日	ダブル・トリプルサスケ			24	1	25
2月12日	たけちゃんとあそぼう2			26	3	29
3月19日	いろいろドッジボール			24	5	29

【1・2年生タイム】

遊びに参加できる学年を1・2年生限定として対象を募集。低学年が参加しやすい行事となっている。その場で子どもたちに何をしたいか聞いて、主体的に参加できる雰囲気を大切にして行った。12回実施し、そのうち5月は遊びと共にフルーツポンチ作りを行い、12月は遊びだけでなく市販のロールケーキに好きなお菓子を自分でトッピングして食べる「クリスマスパーティー」を実施した。次年度1年生になる幼児もプレとして参加可能で幼児親子から小学生まで92名の子どもの参加があった。



【チャチュケタイム】

遊びに参加できる学年を1～4年生として対象を募集。児童館で人気のボール遊びに1つルールを加えて行うことをテーマとしている。普段高学年との集団遊びには参加しないような子ども達の姿もあり、のびのび体を動かしていた。後半から利用者の声もあり、5年生以上対象の「5・6スケ」も生まれた。

実施日	内容	小学生	中学生	人数
4月15日・24日	サスケに慣れよう	19		19
5月15日	ウッキーサスケ	15		15
6月12日	しっかり3歩歩く	10		10
7月10日	歩数が変わるサスケ（&5・6スケ）	29	8	37
8月9日	ミュージックサスケ（&5・6スケ）	18	8	26
9月11日	ミュージックサスケ2（&5・6スケ）	27	4	31
10月9日	ミュージックサスケ3（&5・6スケ）	43		43
11月6日	1、2、3言ってみよう（&5・6スケ）	42		42
12月11日	サバイバルサスケ（&5・6スケ）	19	6	25
1月15日	ケガをしないように（&5・6スケ）	25	1	（+ボラ1）27
2月5日	テクニックサスケ（&5・6スケ）	31	5	36
3月12日	歩数が変わるサスケ（&5・6スケ）	19	2	21

【ゲームタイム】

もとまちじどうかんノートやリクエストなどから普段遊んでいるゲームを大会形式で行ったもの。児童館らしい素朴なゲームもあれば、利用者の意見を反映したマニアックなゲームも行った。8月のe-スポーツや3月のカードゲームは利用者の意見を集め、ルールを決めた。審判及び進行も基本は利用者に任せ、最後までやり遂げた時の誇らしげな表情が印象的だった。



実施日		幼児	大人	小学生	中学生	人数
8月14日	ゲームタイム(e-スポーツ)	1	1	18	3	23
12月26日	ゲームタイム（マンカラ大会）			19	4	23
3月22日	ゲームタイム(カードゲーム DM 大会)				9	9

【中高生タイム(中高生スペシャル)】

毎週土曜日 18 時からは児童館を中高生専用の時間「中高生タイム」とした。

またその中から月に 1 回を「中高生スペシャル」とし、20 時まで中高生の為に開館時間を延長して実施。その際テーマをひとつ設けることで、思春期まっただ中の中学生同士の交流が見られ、彼らにとって、同世代でありながらも、多様な価値観に触れたり、受け入れたりする機会にもなった。

中高生スペシャル の実施日	中高生スペシャルの内容	人数(中高生タイムを含む)			
		中学生	15 歳～17 歳	※大人	合計
4 月 20 日	性格診断タケノコ？キノコ？	58	7		65
5 月 25 日	オリジナルドリンクを作ろう	45	4		49
6 月 29 日	焼きそば作り	65	8		73
7 月 27 日	サイコロゲーム	49	5		54
8 月 31 日	トウモロコシを焼いて食べよう	60	8		68
9 月 28 日	未来の自分に手紙を書こう	41	3		44
10 月 26 日	ラーメンをトッピングして食べよう	43			43
11 月 30 日	夜の児童館探検お疲れ様会	32	1	1	34
12 月 21 日	中高生の意見交換会	27			27
1 月 25 日	お餅を焼いて食べよう	36	6		42
2 月 25 日	カードでお菓子を選ぼう	16	7		23
3 月 22 日	アイスクリームパーティー	37	1	1	39

※大人はボランティア参加(11 月 30 日、3 月 22 日)

【もとまち児童館遠足 すいぞくかんへいこう】

小学生以上を対象とした遠足として実施。児童館利用者から広く意見を取り集め、場所を決めた遠足行事で、申込み初日からたくさんの中申込みが殺到し、初日で申込み受付を終了する事になった。市報を見て参加してくれた子どもたちも職員の仲介ですぐに打ち解けてくれて異なる学校・学年が交流する児童館らしい遠足となった。参加者全員が「また行きたい！」と言ってくれたので、利用者の意見を取り入れながら、楽しめる遠足を引き続き考えていきたい。



来館者全員対象

【避難訓練】

施設を安心・安全に利用してもらうために、利用者自身の身を自分で守るための方法や避難経路を伝えており、計 6 回奇数月に実施。訓練の時間帯に来館していた全ての保護者や子どもたちが参加した。また、職員のみの訓練も毎月定期的に実施し、いざという時、速やかに子どもたちを誘導できるよう設備の確認やシミュレーションも行った。

【その他の単発行事】

※太字は下部に説明文あり

実施日	内容	幼児	大人	小学生	中学生	人数
7月6日 13日	カブトムシ・クワガタほしい子あつまれ	13	14	15	1	43
7月14日	スライムで遊ぼう			14		14
8月14・15日	ムービーデイ		1	27	4	32

7月6日・13日、カブトムシ・クワガタほしい子あつまれでは、職員および職員の知人が飼育した外国産のカブトムシ・クワガタや、教育委員会の方からいただいた日本産のカブトムシを、希望する児童館の利用者へ提供した。開館前から行列ができ、もらった親子は職員による外国産の生き物を飼育する際の諸注意を聞いたあと嬉しそうな顔をして持ち帰って行った。そして、その後の様子を職員に話しに来館するなど利用者との継続的なコミュニケーションへつながった。

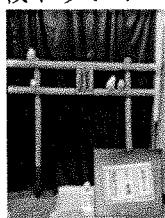
※太字は下部に説明文あり

実施日	内容	幼児	大人	小学生	中学生～	人数
4月1日～6日	春休みスペシャル～児童館クイズ～			39		39
4月3日	春休みスペシャル～はじめてのサスケ～			38	3	41
7月2日～6日	七夕	3	4	14	1	22
7月31日	夏休みスペシャル～卓球大会～			13	8	21
10月26日	ハロウィンジャンケン	9	7	27	9	52
10月30日	ハロスケ(ハロウィンサスケ)			32	1	33
12月20日	クリスケ(クリスマスサスケ)			31		31
12月27日	大掃除&利用者協議会(小学生以上)			20	8	28
1月4日～7日	新春福おみくじ	9	8	88	14	119
1月11日	新春！卓球大会		1	9	4	14
2月3日	節分あそび	4	4	39		47
3月27日	春休みスペシャル～卓球大会～			15		15
3月27日～29日	卒業おめでとう3DAYS			36	3	39

【季節に因んだ行事】

～ハロスケ(ハロウィンサスケ)～

遊戯室を暗くしてハロウィン風の音楽と照明の中で行うサスケ(個人戦ドッジボール)。子どもたちの期待も高く、仮装して参加する子どもたちも出てきた。最も季節感あふれるサスケで、後に子どもたちの意見からクリスケ(クリスマスサスケ)も生まれた。



～新春福おみくじ～

新年最初の行事であったこともあり、たくさんの子どもが参加してくれた。本格的なおみくじのように作ったので、引いた結果や書いてある文を職員と共に読んで一喜一憂する参加者の姿が印象的だった。

～新春卓球大会～ 1月 11 日

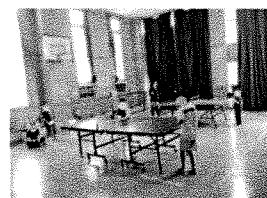
卓球大会を待ち望んでいた人も多く、小中学生 13 名が参戦し、プレイする周りに人だかりができていた。ラリー勝負では、中学生がかなりの回数を出した後、小学生が更なる驚異的な数字を叩き出す熱い勝負が繰り広げられた。そんな中、ミスをした人が「ごめん」と言って相手を思いやる姿が見られた。



～節分あそび～ 2月 3 日



小学生や幼児親子、47 名の方々が参加し、鬼をやっつけるため、豆に見立てたカラーボールを一生懸命に投げ、大変な盛り上がりを見せていました。最後はお土産をもらって喜んでいた。



～春休みスペシャル 卓球大会～ 3月 27 日

広い遊戯室にて、新しいラケットを使いみんなで対戦しました。小学生 15 名の参加があった。参加賞に加え、優勝者は賞状＆遊戯室チケットをもらい、喜んでいた。



今年度卒業する、小学 6 年生と中学 3 年生を対象に、卒業のお祝いとして、児童館から 1 日 1 回プレゼントがもらえる企画を行った。この行事をきっかけに、新しい道に進むという時、児童館で過ごした日々を思い出すかのように、児童館に立ち寄る利用者がほとんどで、懐かしみながら職員と交流する機会となつた。

【地域の方や施設・団体との連携行事】

～おもちゃ病院～

地域のボランティアの方々に来てもらい、利用者、児童館、学童、親子ひろばの壊れてしまったおもちゃを直してもらっている。もとまち児童館の作業の日に利用者が直接壊れたおもちゃを持参し、おもちゃが直った際にはみんなで喜び、その瞬間はまさに、仲介しているおもちゃ担当冥利に尽きる。

～けん玉～ 毎月 1 回土曜日

けん玉名人のボランティアの方に来て頂き、毎月 1 回土曜日、計 12 回実施(10 月はふれあい祭りブースとして実施)。初心者から上級者まで各々が昇級を目指し、互いに切磋琢磨しながら練習に励んでいる。昇級が確定すると、先生の豪快な握手と手作りの小物がプレゼントされ、それらを嬉しそうに受け取る参加者の姿が印象的である。また一緒に教えてもらえるあやとりも大人気で、一生懸命に取り組む参加者も多かった。

～さわやか夏まつり～ 8 月 25 日

今年度から開催時間を早めて開催する運びとなった。隣接しているさわやかプラザの方々と一緒に、夏の思い出の一コマを共有する事ができ、ボランティアも含め 203 名の参加があった。児童館は主にオープニング行進、ゲームブース、神輿を、さわやかプラザでは飲食販売、盆踊りを実施した。参加者は両施設を活発に行き来し、地域がつながる拠点としての役割の大切さを再認識した。



～ふれあいまつりもとまち～

10 月 19 日(土)・20 日(日)の 2 日間にわたり、もとまち公民館、さわやかプラザとの共催で、開催することができた。ボランティア含め、のべ 582 名の参加があった。1 日目は、PTA や地域ボランティアを主体としたブースを、2 日目は子どもスタッフによるお店や「もとまちドリームギフト」と称するプレゼント企画などを開催。2 日間を通して館内は常にお客様の活気に包まれていた。



～国分寺市立第一小学校 3 年生児童館見学～

第一小学校の 3 年生 3 クラスの児童が授業の一環として施設見学のため来館。児童館らしさを全面に出し、楽しみながら児童館について知ってもらえるよう工夫した。その結果、児童館に興味を持ち、遊びに来る 3 年生が増加した。

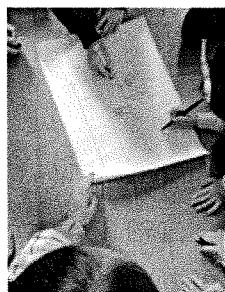
～もとまちプチフェス～

コロナ禍で開催中止となっていた「一小ファミリー運動会」を、形を変えて行えないかを地域の会議で協議した結果、もとまち公民館ともとまち児童館で協同開催することとなり、6月23日に実施。公民館は手打ちうどんを作るイベントやボードゲーム大会を、児童館は特別な工作、当日のみ開催の「さしあげますコーナー」やゲームブースを作り、参加者が2施設を行き来するように行つた。公民館に行った子どもは、公民館での様子を職員に楽しそうに教えてくれた。



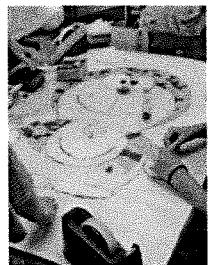
～じぶんプレイス こころとからだの表現タイム～

地域協力者から紹介を受けた団体と調整して年度内に3回実施した。学校に行きづらい子、そのように感じている子どもを対象とした表現あそびの活動で、子どもが楽しみながら、自己表現やコミュニケーションを体験した。主催団体の講師の方々による場の雰囲気作り、子どもの気持ちの取り込み方は素晴らしい、参加したフリースクールの小中学生との接し方など児童館職員にとって参考になる部分が多くあった。保護者や地域の大学生も継続的に見学に来られていた。次年度は隔月でいづみ児童館とそれぞれ開催する予定。



～大学生企画 大学生とあそぼう～ 8月23日

近隣大学の学生と話し合いを重ね実施。開催までに5～7月にかけて学生たちによる「訪問ボランティア」を実施しつつ、企画書やポスター作成などの準備や宣伝を行った。幼児親子から小学生までの計90名(大学生11名含む)が参加。2階の遊戯室では身体を使つたいろいろな遊び、工作室では大学生も加わって皆でちぎり絵を制作、1階では謎ときスタンプラリーなど多種多様なあそびを展開し、参加者を楽しませた。普段接する児童館職員とはちがった地域の学生との交流は子どもたちにとって良い体験となった。



～保健センターミニ相談会～ 10月29日

健康推進課と連携し、専門職職員(保健師・栄養士)の方に来ていただいた。4組の親子が参加。地域応援パートナーの方も研修に来られ、相談中の保護者の子どもと関わっていた。途中、隣の部屋で幼児向け体操を実施し、自由に出入りしていた。ちょっとした気がかりや日々の不安を感じる保護者が、気軽に相談できるような雰囲気の場を作る事ができた。

【市との合同企画】

市内 6 館の児童館と協同で各種行事を企画、準備、実施した。滞りなく終える事ができた。

- ・児童館デイキャンプ in 秋川 ～自然の中であそぼう！～ 7月 7日(日)
※暑さ指数 31 を超えたため中止
- ・児童館 6 館合同乳幼児向け企画
～とういんくるん♪の音と遊ぼう！リトミック～ 9月 26 日(木)
- ・ボランティア懇談会 2月 25 日(火)
- ・いづみジョイントライブ リハーサル 3月 8日(土) 本番 3月 9日(日)



●第一・第二東元町学童保育所※別紙③ 2-1 「企画事業年間報告書」添付 【ミニ入所式】75名

2・3年生が中心にミニ入所式を進行してくれた。1年生に一人一人名前を言ってもらった。少し緊張している様子もあったが、ほとんどの子が自分の名前を発表することができていた。

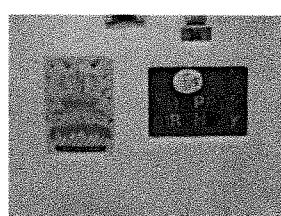
2・3年生からの言葉もあり、1年生も緊張がほぐれた様子だった。

【お弁当カード】34名

見本を参考に、毎日お弁当を作ってくれた人へ感謝の気持ちをカードにした。どんな文章にしようか、どの色を使おうかなど、楽しそうに笑顔で取り組んでいた。カードを受け取った保護者の方に、大変喜んでいただいた。

【誕生会】合計 873名

毎月お誕生月の子どもを主役にお祝いをした。今回は質問コーナー開催し、誕生日カードとプレゼントを渡して拍手でお祝いをした。

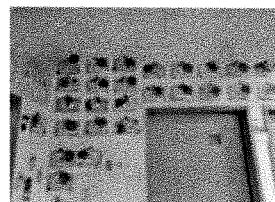


【もとまち図書館 読み聞かせ会(おはなしのへや)】合計 215名

月に2回参加させていただいており、図書館より送り迎えの職員さんもあり、安全に参加することが出来ている。20名程度の参加で、子どもたちは毎回楽しみに参加している。

【工作】合計 567名

5月	工作ウィーク こいのぼり工作	43名
6月	工作ウィーク ありがとう工作	47名
7月	工作ウィーク 七夕工作	49名
7月	工作ウィーク 夏飾り工作	37名



8月	夏休み工作 うちわ	55名
9月	工作ウィーク プラ板キー ホルダー	42名
10月	工作ウィーク ハロウィン工作	41名
11月	工作ウィーク 勤労感謝の日(ペン立て)	45名
12月	工作ウィーク クリスマス工作(松ぼっくりツリー)	70名
1月	工作ウィーク 干支(巳)工作	49名
1月	工作ウィーク 毛糸工作 指編み	73名
3月	卒所工作 ペーパークラフトペン立て	16名



日頃から自分で好きな作品が作れるように備品やリサイクル工作用の箱や材料を用意し、体験できるようにしている。今年度は折り紙、空き箱工作、プラバンなどが子どもたちから人気があった。様々な工作を企画し、実施した。作った物はしばらく学童保育所に飾るなどし、お迎え時に保護者の方に作品を見てもらえるようにした。

【お楽しみ会】合計 125名

8月	夏まつり	63名
12月	お楽しみ会	62名

今年度も計2回お楽しみ会を企画・実施した。



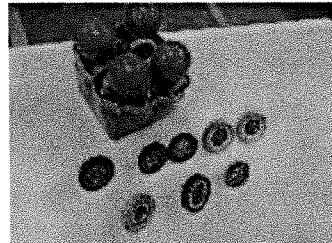
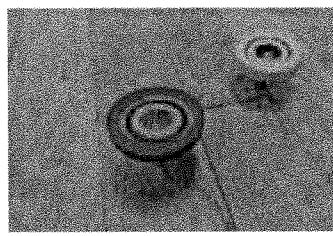
8月の夏祭りでは、学童の玄関先にプールを用意し、その中でヨーヨー釣りや おもちゃやくいを行った。夏の心地よさを感じられるような音楽をかけて、夏祭りを盛り上げた。

12月のお楽しみ会では、学童でピアノとマジック、あやとりの発表に加え、習い事で覚えた特技や朗読も披露してくれた。何日も前から一生懸命に練習に励み、本番では緊張しながらも上手に発表してくれた。会の最後には、当たるくじをしてみんなで盛り上がることができ、「次もやりたい」との声も上がっていた。その後お楽しみプレゼントを配り、みんな嬉しそうに受け取る姿が見られた。



【伝承遊び】

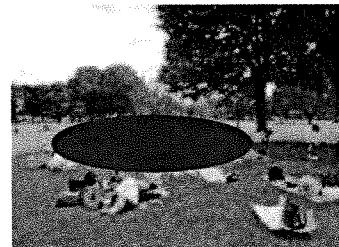
目新しい遊びばかりではなく、伝承遊びにも親しんでもらうことを目的に、1月に伝承遊びを行った。コマ、けん玉、福笑い、あやとりなど様々な遊びを通して、他学年の子との交流も増え、子ども達同士が仲良くなるきっかけともなった。今後も伝承遊びをする機会を増やしていきたい。



【所外保育】1回 合計：61名

10月7日 61名 武蔵国分寺公園

今回は自然を楽しみながら歩いて武蔵国分寺公園まで行った。みんなでお弁当の時間を楽しみ、とても大きな広場を全力で体を使って楽しむ姿が見られた。普段と違う環境で、学童の仲間たちと楽しむことで、絆も深まった様子だった。



【学年会議】

2月19日（合計55人）

学年ごとに分かれ、今年度の振り返りと、来年度に頑張りたいことを伝えてもらった。

子どもたちからは、来年度に向け、新入生にやってあげたいことや、どんなことを教えてあげられるかについて色々な意見を出してくれた。最初なかなか話せなかつた子どもも、周りの子が話すのを見て発表してくれるようになっていた。

【3年生卒式/卒所工作】 76名

3月28日 卒所工作:ペーパークラフトペン立て

職員から一人一人に渡し、卒所証書をみんなの前でもらう時に恥ずかしがっていたが、1・2年生の暖かい拍手で主役の3年生は笑顔になっていた。

1・2年生から「卒所式で出し物をしたい」という声があり、数日前から3年生に向けた出し物を考え、何度も練習を重ねてくれていた。ピアノや特技を3年生に向けて披露してくれた。

1・2年生の立派になった姿も見られた。卒所工作として、ペーパークラフトペン立てをお友達と一緒に柄を選び、楽しみながら作っている姿が見られた。



【避難訓練】441名

4月	1年生避難訓練(避難の仕方)	33名	12月	避難訓練(火災)	51名
6月	避難訓練(火災)	80名	2月	避難訓練(不審者)	68名
8月	避難訓練(地震)	73名	3月	避難訓練(地震:3.11のお話)	62名
10月	避難訓練(不審者)	74名			

【交通安全教室】

警察の方に来てもらっての交通安全教室は開催することができなかった。

学童保育所から一人帰りや集団降所をしている子どもも多く、安全に帰宅してもらうように日々指導をしている。4月の集団降所時には、職員が付き添い、交通ルールを守りながら、集団で安全に帰れるよう見守りと声掛けを行った。

【手作りおやつ・手作り昼食】

今年度は手作りおやつを4月・6月・10月・1月の計4回、手作り昼食の代わりに、ランチボックスの日を8月・3月の計2回実施し、保護者のお弁当作りの軽減に繋げた。

また、きびだんごやお月見団子、シフォンケーキ、恵方巻など季節や行事にちなんだおやつを提供し、そのおやつに纏わるお話しをするなどして食に対する知識を深められるようにした。

【他現場との連携】

他現場との交換研修を実施し、保育の研鑽に繋げた。日々の保育や行事を事前に会議などで情報共有をし、取り入れるところは取り入れるようにした。

【エネルギー・環境・自然・農への取り組み】

さるかに農園さんの協力の下、しいたけとアスパラガスの栽培に取り組んだ。しいたけの水やり等、子どもたちが育てる体験をすることで、育てるものの楽しさを学ぶことができた。子どもたちが育てたしいたけを楽しみながら収穫したしいたけは、袋に入れて持ち帰った。保護者からも好評で、どのようにして食べたかを伝えいただけた。

手洗いやおやつ等で出たゴミを、赤いテープのゴミ箱には燃やせるゴミを、黄色いテープのゴミ箱にはプラスティックゴミを入れるようにして分別の仕方を話をしている他、水道の水を出しつぶなしにしない、ペーパータオルを無駄に使わない等、環境に配慮した取り組みと指導を継続している。



2. 決算状況等及び施設の利用実績

(1) 決算状況 ※別紙④【2-4-1】【2-4-2】参照

(2) 施設の利用実績

●もとまち児童館 ※別紙⑤「年間状況及び実績」添付

●第一・第二東元町学童保育所

【児童数】

第一	1年	2年	3年	その他	計
4月	28	29	29	2	88
5月	27	32	29	2	90
6月	28	32	29	2	91
7月	28	32	29	2	91
8月	28	32	29	2	91
9月	29	32	29	2	92
10月	29	32	29	2	92
11月	29	32	29	2	92
12月	29	32	29	2	92
1月	29	32	28	2	91
2月	29	32	27	2	90
3月	29	33	26	2	90

第二	1年	2年	3年	その他	計
4月	12	7	4	0	23
5月	12	7	4	0	23
6月	12	7	4	0	23
7月	12	7	4	0	23
8月	12	7	4	0	23
9月	12	7	4	0	23
10月	12	7	4	0	23
11月	12	7	4	0	23
12月	11	7	4	0	22
1月	11	7	4	0	22
2月	10	7	3	0	20
3月	10	7	3	0	20

【保育日数】

第一	全日	平日	土曜日	月	全日	平日	土曜日
4月	24	21	3	10月	25	22	3
5月	23	21	2	11月	23	20	3
6月	23	20	3	12月	22	20	2
7月	20	17	3	1月	21	19	2
8月	21	18	3	2月	21	18	3
9月	22	19	3	3月	23	20	3

第二	全日	平日	土曜日	月	全日	平日	土曜日
4月	20	19	1	10月	23	22	1
5月	22	21	1	11月	21	20	1
6月	22	20	2	12月	22	20	2
7月	21	20	1	1月	20	19	1
8月	23	21	2	2月	19	18	1
9月	20	19	1	3月	22	20	2

【開所日数×登録児童数】

第一	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	2,112	1,848	264	10月	2,300	2,024	276
5月	2,070	1,890	180	11月	2,116	1,840	276
6月	2,093	1,820	273	12月	2,024	1,840	184
7月	1,820	1,547	273	1月	1,911	1,729	182
8月	1,911	1,638	273	2月	1,890	1,620	270
9月	2,024	1,748	276	3月	2,070	1,800	270

第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	460	437	23	10月	529	506	23
5月	506	483	23	11月	483	460	23
6月	506	460	46	12月	484	440	44
7月	483	460	23	1月	440	418	22
8月	529	483	46	2月	380	360	20
9月	460	437	23	3月	440	400	40

【延出席児童数】

第一	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	1,332	1,313	19	10月	1,395	1,377	18
5月	1,445	1,432	13	11月	1,247	1,229	18
6月	1,393	1,375	18	12月	1,187	1,174	13
7月	1,418	1,403	15	1月	1,125	1,116	9
8月	1,017	1,004	13	2月	1,029	1,014	15
9月	1,296	1,275	21	3月	1,149	1,134	15

第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	267	263	4	10月	264	263	1
5月	288	286	2	11月	225	223	2
6月	258	254	4	12月	223	220	3
7月	297	294	3	1月	222	221	1
8月	267	263	4	2月	189	185	4
9月	237	234	3	3月	201	198	3

【出席率】

第一	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	63.07	71.05	7.20	10月	60.65	68.03	6.52
5月	69.81	75.77	7.22	11月	58.93	66.79	6.52
6月	66.56	75.55	6.59	12月	58.65	63.80	7.07
7月	77.91	90.69	5.49	1月	58.87	64.55	4.95
8月	53.22	61.29	4.76	2月	54.44	62.59	5.56
9月	64.03	72.94	7.61	3月	55.51	63.00	5.56

第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	58.04	60.18	17.39	10月	49.91	51.98	4.35
5月	56.92	59.21	8.70	11月	46.58	48.48	8.70
6月	50.99	55.22	8.70	12月	46.07	50.00	6.82
7月	61.49	63.91	13.04	1月	50.45	52.87	4.55
8月	50.47	54.45	8.70	2月	49.74	51.39	20.00
9月	51.52	53.55	13.04	3月	45.68	49.50	7.50

3. 従事者育成に掛かる研修実施状況

※別紙⑥ 2-3 「従事者育成に係る研修報告」添付

4. 利用者意見及び自己評価(利用者アンケート調査結果、事業実施状況自己評価)

※別紙⑦ 「事業実施状況指定管理者自己評価票」添付

●もとまち児童館

利用者アンケート調査結果より

1. 前年度から比較し、今年度の特徴的な事項

「Q2. 児童館からのお知らせをみたことがありますか。」について

前年度と比べるとおたよりや市のHP・もとまち児童館独自のHPを見て来館する利用者が多くなっている。また館内の行事のお知らせを見て来館する利用者も依然として多く、お知らせを見たことがない利用者も少なくなった事から、目的を持って来館する利用者が増え、児童館からの情報発信・イベントの効果は一定の効果があったといえる。これからもお知らせを見て来館した利用者が児童館を継続的に利用してもらえるように努めていきたい。

「Q3. だいたいどのくらい児童館に遊びに来ていますか。」について

前年度と同様に、今年度も利用頻度が一ヶ月に数回～ほとんど毎日と回答する割合が高く、利用者の日々の生活の中に居場所として児童館が組み込まれているのがうかがえる。その中で初めて児童館を訪れた利用者が、また遊びに来たいと思えるような雰囲気作りと、その利用者が常連の利用者と一緒に遊べるような環境作りを今後も心掛けていきたい。

「Q4. 児童館に遊びに来る理由を教えてください。」について

前年度のアンケート結果、今年度の利用者協議会であがった意見、利用者が自由に書ける『じどうかんノート』の意見をもとに、様々な行事を実施した。市内のいろいろな地域農園を使つたいちご狩りや収穫体験、JAの協力によるこくべじおりようり、夏休みの学習広場、ゲーム機を使ったeスポーツ大会、夜の児童館探検やさわやかプラザもとまちとの共催による餅つき会など、地域や学校も巻き込んだ多種多様な行事を行った。また以前から強い要望のあった日曜開館も、もとまち公民館との共催行事も含め、複数回実施した。乳幼児向け行事も、もっとマチカフェのように保護者同士が一息つけて交流の場となるような行事づくりを行った。今後も児童館を利用する誰もが居心地良く過ごせるような施設であり続けるため、利用者の声に耳を傾けていきたい。

「Q5. 児童館の部屋は過ごしやすいですか。」について

前年度に引き続き、今年度も換気を行つたり職員が利用者の様子を見ながらそれぞれの居場所となるようにテーブルを用意したり、こまめに室温の調整をするなどして環境を整えた。その結果、ほとんどの利用者にとってどちらかといえばすごしやすい～すごしやすいという意見を多くいただいた。また少数のすごしにくいという意見に2階のマットがボロボロで交換してほしいというものがあり、令和7年1月27日に交換した。以前よりも大きいサイズで、大きな島ができた！と、利用者のお気に入りの場所としてすぐに定着した。

「Q6. 児童館にいる大人（職員）の対応はどうですか。」

職員全体としては「優しく接してくれる」「親切」など肯定的な意見を数多くいただく中、職員個人に対して「うたがわれ、おこられた」という意見もあった。今後も、施設職員として、利用者の発達段階に応じて慎重な対応が求められていることを念頭に、しっかりと利用者と向き合い、職員間で情報共有をしながら細やかな対応とコミュニケーションをとっていきたい。

「Q7. 児童館に満足していますか。」

前年度に引き続き、今年度も満足度は高かった。今後も異年齢の交流の場として、常連の利用者や初めて来館する利用者それぞれに寄り添った声掛けや対応の工夫をしていきたい。また、ランドセル来館事業に伴い、その利用者や保護者が、児童館の中で安心して過ごせるようコミュニケーションをしっかりととり、思いをできるだけ汲み取った丁寧な対応をしていきたい。

2. 昨年度のアンケートの意見を運営等に反映したことによって、今年度アンケートに結びついた内容

学年を限定して（主に1～4年生）行事を行ったところ、他の学年（5年生以上）からも昨年度のアンケートで自分たちの学年でも行ってほしいとの意見があり、試験的に行ってみた。その結果「おもいっきり出来て楽しい」という意見が多く、今年度のアンケートではさらに行事時間を拡大してほしいという意見が出た。

3. 今年度アンケート全般から、今後の児童館運営において検討が必要となる事項。

①運営施設のみでの検討事項

- ・館内各部屋の使用方法や利用者の年齢による行事の参加の仕方、遊具の取り扱いについて職員間で情報共有を行い危険防止に努める。
- ・児童館の利用者やランドセル来館利用者が笑顔で来館・退館できるような環境づくりと丁寧な対応を心掛ける。
- ・利用者のニーズや想いを反映し、可能な限り対応するために利用者や関係施設、地域の方々とのコミュニケーションを大切にし、更なる信頼関係を築いていく。

②国分寺市全館での検討事項。

- ・Wi-Fiなどのネット環境

4. 抽出されたアンケートの要望や課題への回答について

- ・漫画を置いてほしい（要望多数）

利用者協議会やじどうかんノートでの意見を、職員間の共有・協議のもと、増やしています。全ての希望に応える事は出来ませんが、漫画を読むためだけに児童館に来る子どもも多いため、その点を踏まえて置いていきたいと思います。

- ・Switch またそれに伴うゲーム大会（スマブラなど）をやりたい

今年度夏休み、9月の日曜開館にそれぞれ switch を使用した e スポーツ大会を実

施しました。また2月の東元町学童保育所との合同・交流行事でも、皆が公平に楽しめるように企画しています。

- ・2階のマットがボロボロで、中身が落ちていると食べそうになるため、新しくなるとより嬉しい

以前からマットは指摘をいただいていて、修繕などをして使用していましたが、令和7年1月27日に交換しました。

- ・お泊り会をやってほしい

お泊り会は今年まで中止としていました。今後、以前のように開催できるように市と協議して再開時期を検討していきたいと思います。

- ・お化け屋敷をやりたい

11月に今年3回目の開催となるホラー要素を含んだ夜の児童館探検を行い、高い評価を得ています。より多くの利用者に楽しんでもらえるように、やり方を工夫し、周知されるよう宣伝方法も考えていきたいです。

- ・社会科見学

令和7年度の夏～冬の間に、地域農園、こくべじプロジェクト委員会などの協力で、国分寺市・小平市の観光名所や地域を周り、社会科見学の要素を含んだ遠足を自主事業で検討しています。

- ・ゴロサスケを20分！

小学生の対象学年を設けた行事を、という意見から企画した、チャチュケ（1～4年生限定のボール遊び）に対して、今年から5・6スケ（5年生以上）を始めましたが、上級生から評判が良く、時間を延長してほしいという意見が出ました。他学年の遊び時間にも関係があるので、職員間で慎重に検討中です。

- ・おやこの「わ」の内容を事前に知れると嬉しい。

ハロウィンやクリスマスなど、季節行事を企画・予定している際は、事前に館内掲示等でお知らせできるようにしたいと思います。

- ・一輪車

令和6年度、「みんなであそぼう」の中で部分的に行いましたが、人気も高かったので、来年度、専用の行事時間を設定できないか検討していきたいと思います。

- ・幼児（年中、年長）と小学生が一緒にあそべるイベント

行事によっては体格差などもあり難しいのですが、日々のあそびの中で小学生と幼児さんが一緒に遊ぶきっかけづくりを心掛けてまいります。

●第一・第二東元町学童保育所

利用者アンケート調査結果より

【評価された点】

- ・職員の対応がいつも丁寧。
- ・様子を聞かせてもらったりするので安心。
- ・こちらの記載漏れ、伝え漏れであっても、必ず確認の連絡をもらえるので運営がしっかりしていると、信頼している。
- ・子どもの様子を連絡帳や口頭などでいつも、聞かせてくれるので安心。

- ・お友達とトラブルがあった時などに、お電話で様子を教えて下さったので、家で子どもと話し合うことができました。
- ・なかなか自分からは学校や学童でのことを話さず様子が分からないので、学童からご連絡いただけることをありがたく思っています。
- ・狭いスペースで大人数の子どもたちを工夫を凝らしながら楽しく安全にすごせるように対応してくれていると思います。
- ・子どもも学童で沢山の事を学んできてありがとうございます。
- ・夏休み、体育館で過ごせてとても楽しかったようです。スペースも広く、昼寝もできたり、冷房がきいていたり、遊べたり。
- ・職員の先生方は、登録人数に対して部屋が狭いなかで、工夫して保育して下さっており、有り難く思っています。
- ・いつも丁寧に様子を口頭で教えていただいたり、こんないいことがあった！とノートに記載いただいたりありがとうございます。
- ・夏季休暇中は体育館を解放いただいたり、工夫いただいてます。
- ・学童保育所の面積に対して子ども達が多い中で、校庭や体育館の使用も組み込んでくれている。

【指摘された点】

- ・夫婦共に都心の職場へ通勤をしているため、勤務時間+通勤時間（2時間）を考慮すると、平日朝7時から学校が始まるまでの預かりや、長期休暇中は朝7時から夜8時まで開所時間が広がると大変ありがとうございます。
- ・学校と連携して、児童館の職員の付き添いのもと、プラン室や校庭や体育館などの利用を推進してほしい。
- ・人数が多いので狭いのは仕方ないと思いますので、学校の教室などの了解、体育館や校庭の利用がもっとできるとよいなと思います。（現在も一部利用していると思いますが）
- ・今は同じ敷地内であっても運営元が異なるため、かなり煩雑であり、共働きで仕事をしながらそれぞれのルールの把握・管理・申請などを行うのは厳しすぎる。
- ・夏休みのお弁当も、素人の作成したお弁当では食中毒が不安である。仕出し弁当を検討してほしい。
- ・夏休みなどの休暇中に仕出の弁当が注文できる仕組みが欲しいです。
- ・土曜や長期休暇期間のお弁当を持参しているので有料での弁当提供が選べると助かる。
- ・長期休暇中のお弁当購入があるといいなと思います。
- ・夏休みの昼御飯の提供を増やして欲しい
- ・長期休み中に昼食をご用意いただける日が、せめてもう1日あるとありがたい。
- ・保育環境が良くない。トイレの前にお迎えに来る子のランドセルが直置き（衛生面が悪い）、読書も満員の部屋で床に広げて読んでいるのは可哀想かなと思う。
- ・長期の休みに所外保育を増やしてもらえるともっと良いかと思います。
- ・暑い時期にエアコンが壊れて、修理されるまで時間がかかったと思います、快適に

過ごせる環境は整えていただきたいです。

- ・勉強と遊びのメリハリをつけられる工夫があるとありがとうございます。人数が多いとなかなか難しいのは理解します。
- ・工事中だけではなく、来年度も第一小学校体育館の使用を検討していただけるとありがとうございます。
- ・外遊びが思っていたよりも少なかった。
- ・児童の人数に対して部屋が狭すぎる。
- ・学童保育の定員に対して子どもの数が多いので、改善をお願いできたらと思います。
- ・定員に対する子どもの人数が多過ぎる。
- ・人数に見合った敷地で保育をしていただけるよう、もう少し広い敷地を提供して頂きたい。
- ・東元町第一学童 人数に対して狭いのでもう少し広がったら嬉しい。
- ・設問 14 の保育環境に関して施設が狭く児童の数が多いため、職員さんも児童もかなり窮屈に感じているのではないかと思っている。
- ・施設の広さと児童の人数が見合っておらず、かなり窮屈に感じる。
- ・登録人数に対して部屋が狭いと感じています。
- ・現在の学童の増床や増築、新たな民間学童の誘致などしていただけたら、より子どもたちも過ごしやすいのではないかと思います。
- ・学童保育所の面積に対して子ども達が多いなという印象です。校庭や体育館の使用も組み込んでくれていますが、やや窮屈なのかなと思います。
- ・学童待機児童を発生しないように受け入れていただいているのはありがたいのですが。
- ・現状の施設で運営するとして、待機児童を発生させてものびのびした空間を確保するか、全員受け入れは優先順位の問題なので、学童以外の選択肢をとれる日にはそちらに行くなど、しばらくは利用する側も工夫しながら折り合いをつけていくしかないかなと思っております。

(アンケートより)

【考察】

- ・開所・閉所時間の変更については、保護者の要望を伝えつつ、市の方針に寄り添っていきたい。
- ・学童での一日の流れや、学習の時間でのルールなど、子どもたちにはもちろん保護者の方にも周知いただけるよう、室内展示やお便り等で丁寧に発信していく。
- ・子どもたちの安心安全を守るために話をしていることではあるが、わかりやすい話し方を心掛け、工夫が必要。
- ・学校側やプラン室と協議し、今後も子どもたちがのびのびと過ごすことが出来るよう、工夫していく。
- ・プラン室との情報共有を密にし、分かりやすい学童からの利用方法を発信していく。
- ・子どもたちの意見を聞き、遊び・学習・おやつの時間を組み立てていく。
- ・夏休みにランチボックスを実施、春休みにカレーの提供、保護者の負担軽減に努める。

さらに、冬休みから長期休業期間中の配食サービスも実施した。

- ・ランドセルの置き場は、子どもたちの帰りやすさ、日頃の動線などを加味し、今後も工夫していく。
- ・読書スペースについて、現状、机を学習やおもちゃを使って遊ぶ子どもを中心としており、子どもたちは譲り合いながら過ごしており、生活の流れに合わせ、育成室を分けて場所を確保するなどの工夫をしている。
- ・場所にゆとりを持てるよう、今後も学校側などとも協議しながら教室や体育館の利用なども検討していく。
- ・今年度のアンケートでも、沢山の貴重なご意見や有難いお言葉を頂いた。学童保育所だけでは気付けていない点もあるため、保護者の方のご協力いただき、子どもたちや保護者の思いに寄り添いながら、子どもたちが安心安全で楽しく過ごせる居場所作りに努めていきたい。

5. 苦情対応にかかる記録

●もとまち児童館 ※別紙⑧ 2-5 「苦情対応にかかる記録」添付

利用者からの要望やご意見を真摯に受けとめ対応し、職員間の共有ノートや市で統一された様式に沿って記録を残している。そこに至るまでの経緯を職員で考察し、再発防止のための策を具体化し、すぐに実践にうつしている。今年度、施設運営に直接関わる苦情はなかった。

●第一・第二東元町学童保育所 ※別紙⑧ 2-5 「苦情対応にかかる記録」添付

日頃からご相談・ご質問等あった際には迅速に対応した。市が実施するアンケートも概ね良好な声が多かった。

今後も一人一人の声を大切にし、ご意見・ご質問に真摯に対応して、より良い学童保育運営に努めていきたい。

6. 事業計画書に掲載した計画の実施状況

年間を通して“遊びや活動を通して、子どもたちの自主性・協調性を育む”“地域に根ざし地域の方との信頼関係を築く”を基本目標として企画事業、自主事業とも、年間計画に沿って実施する事ができた。

もとまち児童館において、今年度もさわやかプラザを利用させていただき、ゆっくり調理をしたいといった利用者のニーズに応えることができた。来年度も引き続きご迷惑にならぬよう利用させていただきたい。その他の地域との連携による単発の行事では、昨年度に引き続きさわやかプラザとのもちつき大会への参加、大学生企画の「大学生とあそぼう」を実施。更に、地域の方の紹介で、学校に行きづらい、また、そのように感じている子を対象とした表現あそびを行う「じぶんプレイス」を、次年度の活動を視野に入れながら先駆けて実施する事ができた。土曜開催の親子行事の「親子で A・SO・BO!!」の枠の中で、1月から月1回、現役の舞台俳優兼学童職員によるイベントを実施。来年度は親子行事に加え、小学生対象の活動の計画をしている。引き続き、行事や普段の関わりあいの中で地域の方々とともに子どもたちを見守って

いきたい。

第一・第二東元町学童保育所では、手作りおやつや手作り昼食なども行うことができ、時期の変更等もなく行うことができた。地域の取り組みや行事にも可能な限り職員が参加・協力した。地域の方や学校の先生方、子ども家庭支援センター、子どもの発達支援センターつくしんぼなど市の機関との情報共有をすることで学童保育所の運営に活かすことが出来た。

7. その他管理の実態を把握するために必要な事項

(1) 各種会議への参加

毎月行われている子ども子育て事業課の「担当別会議」「館長会議」「合同行事会議」に例年通り出席しており、「円卓会議」は対面と web を併用しながら出席している。年に3回の児童館・学童合同会議では、子ども子育て支援課からの共有事項の把握とともに、公・民が一同に会し、地域の状況を話せる機会となっている。対面での「東部地区親子広場連絡会」にも出席し、情報共有や報告を行い顔の見える関係性を築けている。また、課を越えた「こくべジプロジェクト会議」「地域会議」「地域福祉推進協議会」「居場所会議」にも参加し、情報の共有を行ったりイベントに参加したりする事で、地域との繋がりを密にし、利用者にとってより良い児童館運営を行えるようになった。子ども達を取り巻く生活環境や地域課題を、より多角的な視点で捉える機会となっている。「放課後子どもプラン PT 会議」に参加した他、「さわやか夏まつり実行委員会」「ふれあいまつり実行委員会」、2月には「防災シンポジウム」に参加し、地域の方たちとの交流を図っている。

(2) 近隣小学校・中学校との連携

● もとまち児童館

近隣の学校の校長先生・副校長先生とは、地域会議を通して子どもたちの情報を共有している。また、毎年第一小学校3年生は児童館見学で来て、児童館のルールの確認や児童館がどのような施設なのかの説明を行った。また、中学生が職場体験で児童館に訪れ、児童館の行事に参加し、子どもたちや保護者との関わりを通して、児童館の役割や将来の自分について考えるきっかけづくりになった。さらに、中学校の授業中に行われる、職場体験の発表会に招待していただき、中学生の個性的で元気いっぱいの発表を観覧する事ができた。これからも学校との連携を密にとり、子どもたちの健全育成を担っていきたい。

第一小学校3年生の施設見学、第四中学校(3名)、第二中学校(4名)の職場体験、早稲田実業学校中等部1日中学生(3名)の職場体験、第一小学校2年生見学ツアー、近隣専門学校の実習(1名)の受け入れを行った。



●第一・第二東元町学童保育所

今年度は第一小学校の行事の参観(運動会・音楽会)ができた。また、学校や放課後子どもプランと学童保育所職員で、定期的な情報共有の場を持つこともできた。学校からは休校や下校日時の変更等、密に連絡をいただき、それに合わせて体育館、校庭の借用の連絡をその都度取らせていただくことで、狭隘状況緩和のためスムーズな分散保育を実施することができた。

子どもたちの様子についても、在籍児童について情報共有をさせていただいたため、学校と連携が取れた対応をすることができた。今後も引き続き学校との連絡を密に行い、利用者にとって安心・安全な運営に努めていく。

(3) 関連機関との連携

【各親子ひろば・青空ひろばとの連携】

東部地区拠点親子ひろば「B O U K E N たまご」、プレイセンター小さな森、矢島助産院などに、円卓会議や、おたよりの配布の際にお話しをさせていただきながら情報共有を行っている。

また、今年度は6回、他団体との協同事業である青空ひろばとして、本多わかば公園、若松公園、けやき公園、もとまち公園に公園スタッフとして参加。連携をとりながら子育て環境における地域課題を共有する事ができ、職員としても児童館とは違った子どもとの対応をする事で良い経験となった。

【地域の方や施設・団体との連携】

もとまち公民館、図書館、もとまち地域センター、さわやかプラザもとまちと地域会議や日々のご挨拶で、地域の情報の共有や、児童館・学童の現状報告をし、地域課題を共有している。地域の子どもたちのためにと様々なアドバイスをいただき、今後の企画、実施にいかしていきたい。

こくべじプロジェクト会議への参加やイベント参加を通し、地域農家とのつながりや課を超えた方たちとのつながりを築く事ができた。今年度は各方面の協力を得て行ったイベントも多く、これからも継続していきたい。

【児童館・学童保育所との連携】

マジックショーへの参加や土曜保育での利用などを行い、児童館利用児と学童児との交流・学童保育所職員に児童館の様子を知ってもらう事ができた。また児童館職員が学童保育所に応援に行く事で、学童児や保護者に児童館を知ってもらい、卒所後の居場所としての児童館を認識してもらうだけでなく児童館職員が学童保育所の様子や仕事の手順を知る良い経験ができた。2月には3年目となる合同スポーツ大会を実施し、職員同士の交流の場にもなった。喫緊の課題である学童の狭隘状況の解消に向け、児童館・学童保育所職員で今後も連携をとりながら、課題解決に向けて話し合いを継続し働きかけをしていきたい。

【大学生との連携】

児童館の機能・役割に、地域の子どもの育ちに関する組織や人とのネットワークの推進が掲げられ、地域で子育てを支え合う環境づくりが求められる中、大学生とのつながりは重要な要素のひとつである。今年度も大学生ゼミの一環として、大学生と子どもたちとの交流を深めることができた。

交流のきっかけとしては、大学のゼミ生が公民館で実施している行事に参加し、その後児童館との連携についてのやりとりを行った経緯があった。大学のゼミの主旨と児童館で求められること等、話し合いを積み重ね、共通の目的意識や目指すべきところをさらに明確にしていった。今年度は、定期的な訪問ボランティアや行事の企画・実施等を行った。

身近なお兄さんやお姉さんである大学生との関わりの中で、子どもたちはキラキラした表情を見せていた。普段関わる大人とは違う交流から、新たな自分や他者との関係性を発見する良い機会となった。

今後は行事だけでなく、日々の関わりや学習支援などの場づくりができる協力体制を作っていくみたい。

【民生委員との連携】

時間があるときに学童保育所に寄っていただき、情報共有をさせていただいた。今後も、情報共有を続けるとともに、随時ご相談させていただくなど、連携を取らせていただきたい。児童館においては、今年度はまつりに参加していただけなかつたが、地域の子どもたちの登下校の際の見守りや他の現場でお会いした時に情報共有をさせてもらう事ができた。今後も関わり合いを継続し、地域の子どもたちのため、協力体制をとっていきたい。

【子ども家庭支援センターとの連携】

気になる児童や家庭について、電話や要保護児童対策地域協議会の個別ケース検討会議等で細めに情報共有をさせていただき、その児童や家庭について学童保育所での対応が必要になった際に、子ども家庭支援センターと情報共有をしていく。

切れ目のない支援をおこなうには、地域とのつながりや各関係機関との連携が不可欠である。定期的に開催される会議に積極的に参加すると共に、日々の対話を大切に行ってきました。

地域の親子や子どもたちの健やかな成長のため、児童福祉にかかわる私たちの役割はとても重要であり、それを念頭に引き続き事業運営を進めていきたい。

令和6年度 職員名簿

名簿作成日 令和7年3月31日

施設名：第一東元町学童保育所

指定管理者名 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修終了年度	
1	星 宇宙			運営責任者/防火管理者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
2					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
3					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障がい児保育				
4					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障がい児保育				
5					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障がい児保育				
6					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障がい児保育				
7					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障がい児保育				
8					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障がい児保育				
9					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障がい児保育				
10					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障がい児保育				

※1 統括責任者、運営責任者、防火管理者などを記入すること

※2 基礎資格を証する書類や放課後児童支援員認定資格研修修了証の写しを添付すること

※3 年度途中で職員体制等に変更等が生じた場合には、改めて提出すること

令和6年度 職員名簿

名簿作成日

令和7年3月31日

施設名：第二東元町学童保育所

指定管理者名

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修終了年度	
1	富樫 泉			運営責任者/防火管理者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
2					常勤	その他		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
3					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障がい児保育				
4					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障がい児保育				
5					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障がい児保育				
6					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障がい児保育				
7					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障がい児保育				

※1 統括責任者、運営責任者、防火管理者などを記入すること

※2 基礎資格を証する書類や放課後児童支援員認定資格研修修了証の写しを添付すること

※3 年度途中で職員体制等に変更等が生じた場合には、改めて提出すること

令和6年度 職員名簿

施設名 もとまち児童館

名簿作成日 令和7年3月31日

労働者共同組合ワーカーズコープ
指定管理者名 センター事業団

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	勤務形態			職務の内容	資格要件※2	配属年月日	主な経歴
						雇用	給与	勤務時間				
1	重水 はづき			統括責任者/防火管理者	常勤	正社員	月給	フルタイム	児童厚生員 施設全体の統括管理			
2				防火管理者	常勤	正社員	月給	フルタイム	児童厚生員			
3					常勤	正社員	月給	フルタイム	児童厚生員			
4					非常勤	パート	時給	短時間	児童厚生員			
5					非常勤	パート	時給	短時間	児童厚生員			
6					非常勤	パート	時給	短時間	児童厚生員			
7					非常勤	パート	時給	短時間	児童厚生員			
8					非常勤	パート	時給	短時間	児童厚生員			
9												
10												

※1 統括責任者、運営責任者、防火管理者などを記入すること

※2 基礎資格を証する書類や放課後児童支援員認定資格研修修了証の写しを添付すること

※3 年度途中で職員体制等に変更等が生じた場合には、改めて提出すること

令和6年度自主事業実施状況一覧

No.	事業名称(※1)	事業計画の有無と時期	事業内容	実施施設	実施の有無と時期	参加人数	収入	支出	未実施の理由・今後の方針(※2)
もとまち児童館	1 イチゴ狩り(もとまちファミリーDAY)	有 令和6年4月27日	職員の引导で国分寺市内の農園に行き、農家さんからこくべじの話を聞いたり、イチゴの収穫体験を楽しむ。	中村農園	有 令和6年4月27日	31人	0円	1,188円	
	2 もとまちM-1グランプリ	有 令和6年4月15日～5月31日	児童館のマスコットキャラクターをみんなで決める。	もとまち児童館	有 令和6年4月8日～6月15日	227人	0円	0円	
	3 もとまち自然体験(小農＆ムジムシタイム)	有 令和6年5月1日～9月上旬	館庭で国分寺の野菜を利用者と共に育て収穫を行う。地域の行事で獲ったカブトムシ・クワガタを利用者と一緒に育てる。	もとまち児童館	有 令和6年5月1日～7年3月29日	約200人	0円	4,332円	
	4 夏休み学習広場 ※事業計画では「夏休み宿題・自由研究教室」と記載	有 令和6年8月毎週火曜日	館内に学習専用の場所を設け、子どもたちの宿題や学習のサポートを職員および学生ボランティアが行う。	もとまち児童館	有 令和6年8月1・8・15・22日	16人	0円	0円	
	5 こくべじおりょうり!(もとまちファミリーDAY)	有 令和6年9月14日	地域の農園に分けてもらった野菜を使ったスープを作り利用者に提供し、みんなで食卓を囲む。また「こくべじ」やそれに関わる児童館の活動をパネル展示して地域との関わりを利用者に知ってもらう。	もとまち児童館	有 令和6年9月14日	47人	600円	1,757円	
	6 夜の児童館体験	有 令和6年11月30日	児童館遊戯室を暗くして内部に仕切りをつけ、参加者は中高生スタッフと一緒に作った各ゾーンを回ってゲームをしながら進む脱出ゲーム。	もとまち児童館	有 令和6年11月30日	114人	0円	5,689円	
	7 新春マジックショー＆昔遊び	有 令和7年1月初旬	前半は地域ボランティアの方たちによるマジックショー、後半は職員も一緒に参加して昔遊びを楽しむ。	もとまち児童館	有 令和7年1月7日	47人	0円	0円	
	8 もとまち日曜開館(ゆったりSunday)	有 令和6年5月5日 9月22日 令和7年2月23日	5月・9月は利用者がゆったりと過ごせる場を作り、提供する。 2月は学童保育所職員と共に児童館を使って合同でスポーツ・遊びの大会を行う。	もとまち児童館	有 令和6年5月5日 9月22日 令和7年2月23日	112人	0円	1,760円	
	9 ふれあいカフェ	有 6月 10月 2月	日々学童で提供しているおやつを食べてもらいうながら、職員と気軽に会話したり、保護者と親交を深め、普段子供たちが遊んでいるおもちゃやゲームと一緒に遊んでもらい、触れ合を楽しんでもらう。(学年別で計三回実施)	第一 第二東元町学童保育所	有 令和6年6月29日 令和6年10月19日 令和7年1月25日	46人	0円	21,422円	
	10 ランチボックス	有 長期休業期間	一日保育の日にお昼を提供することで、保護者の負担を少しでも軽にする。 ・地域のお店を利用することで、地域との繋がりを持つ。(長期休業期間中に実施)	第一 第二東元町学童保育所	有 令和5年8月15日 令和7年3月28日	106人	0円	22,348円	
	11 キッズプログラミング	有 10月 2月	タブレット端末のアプリを使ったプログラミング体験 □ボット操作体験(年二回実施)	第一 第二東元町学童保育所	有 令和6年11月16日 令和7年2月8日	30人	0円	23,373円	
ワーカーズ	12 配食サービスによる 昼食提供	有 令和6年12月10日	・長期休業の一日保育開始(土曜日を除く)に(株)PECOFREEのサービスを利用して配食を希望する家庭に向けて昼食提供を行った。 ・運営者を通じて注文した昼食の弁当を各学童で受け取り、昼食時に該当の子供たちに配った。 ・弁当運営者を通じた注文先との折衝。また、弁当運営者が注文受けに使用する機器の購入費用を負担する。 ・毎年より第三回目(毎年三回)は学童保育所を担当部署から引き継ぎ、その後に行っていた取り組みを継続させる形が始まった。	第一 第二東元町学童保育所	有 令和6年12月25日	学童保育所利用児童全員が対象	0円	0円	

※1 年間事業計画書に記載している自主事業については、すべて実施状況を記載してください。

※2 実施の有無が「無」の場合のみご記入ください。

企画事業年間報告書(もとまち児童館)

指定業務である児童館事業に関する業務のなかで指定管理費により企画実施する事業(イベントその他)

児童館年間事業報告

月	名称	内容
4月	春休みスペシャル (はじめてのサスケ) (じどうかんクイズ) 親子のわ 幼児向け体操 親子おはなし会 もっと！まちカフェ 親子でA・SO・BO 1・2年生タイム チャチュケタイム みんなであそぼう わくわく工作 中高生タイム(スペシャル) けん玉	<ul style="list-style-type: none"> ▶新1年生でも簡単に参加できるボール遊びを行った。 ▶児童館のルールや遊び方を知ってもらうためのクイズを行った。 ▶工作や活動を通し交流のきっかけとなった。 ・新聞紙あそび ▶職員による体操や手遊び、読み聞かせを行った。 ▶ボランティアによる読み聞かせや手遊びを行った。 ▶乳幼児親子の交流の場として飲み物やお菓子を提供する場所を作った。 ▶土曜日に開催する乳幼児親子(父親も参加できる)のための遊び行事。 ▶1・2年生中心の活動でやりたい事をその場で決めた。 ・ボールや風船で遊ぼう ▶3・4年生中心の活動で遊びながらルールやマナーを学んだ。 ・サスケに慣れよう ▶毎回テーマをかえて実施した。 ・いろんなオニごっこ ▶季節に因んだ工作やリクエストのあった工作を行った。 ・プラ板 ▶中高生を対象として館運営を行う。 ※月に1回は中高生スペシャル(中高生SP)としてお菓子提供や特別なイベントを行う ▶ボランティアによるけん玉の技の習得、昇級に向けて練習をした。
5月	親子のわ 幼児向け体操 親子おはなし会 もっと！まちカフェ 親子でA・SO・BO 1・2年生タイム チャチュケタイム みんなであそぼう わくわく工作 中高生タイム(スペシャル) おりようりしようよ けん玉 避難訓練(不審者) 国分寺一小3年生児童館見学 おもちゃ病院(奇数月担当) 青空ひろば	<ul style="list-style-type: none"> ・こいのぼり・けん玉 ・フラフープ・小学生と遊ぼう・絵本スペシャル ・傘袋風船あそび ・シャボン玉 ・ウッキーサスケ(両手投げサスケ) ・ムカシアソビ(コマ、けん玉) ・しおり作り ・自分だけのオリジナルドリンクを作ろう(中高生SP) ▶隣の施設さわやかプラザの調理室を借りてプラウニーとクッキー作り ▶「いかのおすし」を中心とした児童館での防犯対策を行った。 ▶生徒に児童館について講話を行う ▶ボランティアの方におもちゃの修理をしてもらった。 ▶市内の公園にスタッフとして参加。野外活動の楽しさを学び利用者に伝える。 ・もとまち公園

6月	親子のわ 幼児向け体操 親子おはなし会 もっと！まちカフェ 親子でA・SO・BO チャチュケタイム 1・2年生タイム みんなであそぼう わくわく工作 中高生タイム(スペシャル) けん玉 利用者協議会 もとまちブチフェス(公民館共催行事) 青空ひろば	・かたつむり工作・むかし遊び・コマを見てあそぼう ・マットあそび・わっかと風船・ボール遊び ・しっかり3歩で歩こう ・ボール遊びとフルーツポンチ作り ・3ポアテ ・スライム作り ・やきそば作り(中高生SP) ▶利用者の思いを聞いたり、ルールの確認をした。 ▶もとまち公民館と連携して館内にブースを作り、スタンブラーを行った。 ・本多わかば公園
	親子のわ 幼児向け体操 親子おはなし会 もっと！まちカフェ 親子でA・SO・BO 1・2年生タイム チャチュケタイム(5・6スケ) みんなであそぼう わくわく工作 おりょうりしようよ 中高生タイム(スペシャル) けん玉 チャブチャブしよう 避難訓練(火災) カブトムシ・クワガタほしい子あつまれ 七夕 おもちゃ病院(奇数月担当) 卓球大会 スライムであそぼう	・七夕飾り・お手玉 ・コロコロ遊び・ブチえんにち ▶1~4年生だけのチャチュケだけではなく、5・6年生以上を対象にしたサスケも行った。 ・新聞紙雪合戦 ・貝殻工作 ・フルーツポンチ作り ・サイコロゲーム(中高生SP) ▶幼児用の水遊び場を館庭に設置した。 ▶火災発生時の対応及び避難経路の確認を来館者全員で行った。 ▶国分寺産のカブトムシおよび外国産のカブトムシ・クワガタを希望者に配布した。 ▶国分寺産の笹に短冊や飾りで装飾した。 ▶トーナメント形式にして大会を行った。 ▶児童館で用意したスライムに参加者が手を加えて感触を楽しんだりした。
7月	チャチュケタイム(5・6スケ) 1・2年生タイム けん玉 ゲームタイム 中高生タイム(スペシャル) チャブチャブしよう わくわく工作(夏休みスペシャル) みんなであそぼう(夏休みスペシャル) ムービーDAY さわやか夏まつり 大学生とあそぼう	・大人(職員)も混ざってサスケをしよう ・ボール遊び ▶自分たちのやりたい活動を通じ交流のきっかけとなった。 ・e-スポーツ ・焼きトウモロコシをみんなで作って食べた(中高生SP) ▶夏休みの期間中に時間をかけてできるビーズアクセサリー作りを行った。 ▶館庭で水遊びを行った。 ▶利用者がゆっくり映画を観る事ができた。 ▶さわやかプラザとの共催企画 ・行進・ゲームブース・神輿 ▶東京経済大学の学生たちと身体を使った遊び、工作、スタンブラーを行った。
8月		

9月	親子のわ 幼児向け体操 親子おはなし会 もっと！まちカフェ 親子でA・SO・BO 1・2年生タイム チャチュケタイム(5・6スケ) みんなであそぼう わくわく工作 けん玉 中高生タイム(スペシャル) 避難訓練(地震) おもちゃ病院(奇数月担当) 児童館合同親子行事「とういんくるん♪の音と遊ぼう！リトミック」	・ぶどう作り工作・お手玉 ・くりひろいごっこ・昔あそび ・音楽のリズムに合わせたサスケ ・はぐだんオニ ・浮沈子工作 ・未来の自分に手紙を書こう(中高生SP) ▶地震発生時の対応及び避難経路の確認をした。 ▶ピアノやマリンバの音楽や講師の動きに合わせて体を動かして遊んだ。
10月	親子のわ 幼児向け体操 親子おはなし会 もっと！まちカフェ 親子でA・SO・BO 1・2年生タイム チャチュケタイム(5・6スケ) みんなであそぼう わくわく工作 中高生タイム(スペシャル) ふれあい祭りこどもスタッフ会議 ふれあい祭り けん玉 ハロウィンジャンケン ハロスケ 国分寺四中職場体験受け入れ 青空ひろば 保健センターミニ相談会	・手形・ハロウィンあそび ・おいもほりとやきいもあそび・ハロウィン工作 ・ミュージックサスケ ・新聞紙雪合戦R(リターンズ) ・ハロウィン仮面作り ・ラーメンに自分で好きなトッピングをのせて食べよう(中高生SP) ▶ふれあい祭りに参加する子どもスタッフの打ち合わせ ▶3施設共催のまつりを行った。 ・ふれあい祭りブースとして ▶ハロウィンに因んだジャンケンゲームを行った。 ▶遊戯室の照明を暗くしてハロウィンっぽい音楽を流し、参加者は仮装して参加OKのポール遊びを行った。 ・けやき公園 ▶健康推進課と連携した相談事業。
11月	親子のわ 幼児向け体操 親子おはなし会 もっと！まちカフェ 親子でA・SO・BO 1・2年生タイム チャチュケタイム(5・6スケ) みんなであそぼう わくわく工作 けん玉 中高生タイム(スペシャル) 国分寺二中職場体験受け入れ 乳幼児親子遠足 もとまち収穫体験 避難訓練(不審者) おもちゃ病院(奇数月担当) 餅つき会 青空ひろば	・いもほりあそび・音あそび・職場体験の中学生に質問コーナー ・フラフープ・大きい袋であそぼう・ボールあそび ・1、2、3をかぞえてみよう ・バランスパーク ・ビーズアクセサリー工作 ・夜の児童館探検手伝ってくれた中高生スタッフへのお疲れ様会を行った(中高生SP) ▶児童館から職員引率のもと地元農家に行き野菜を収穫。地域の文化を知る機会にもなった。 ▶館内だけでなく館外で不審者に遭遇した場合、どのように対応すれば良いかを利用者と共に考え、確認した。 ・隣接するさわやかプラザもとまちと共に餅つきを行った。 ・本多わがば公園

12月	親子のわ 幼児向け体操 親子おはなし会 もっと！まちカフェ 親子でA・SO・BO 1・2年生タイム チャチュケタイム(5・6スケ) みんなであそぼう わくわく工作 おりょうりしようよ けん玉 ゲームタイム 中高生スペシャル 大掃除・利用者協議会	・クリスマス会(乳幼児親子対象) ・リズム遊び・クリスマスあそび ・クリスマスパーティー(ボールあそび、自分だけのオリジナルトッピングのクリスマスケーキを食べよう) ・サバイバルサスケ ・クリスマス会(小学生以上対象) ・クリスマスリース ・手打ちうどんをつくろう ・マンカラ大会 ・中高生以上の利用者の意見を聞く場を作った(中高生SP) ▶普段使っている施設に感謝の気持ちをもって拭き掃除を行った。 ▶利用者の思いを聞いたり、ルールの確認をした。
1月	新春福おみくじ 新春卓球大会 親子のわ 幼児向け体操 親子おはなし会 親子でA・SO・BO 1・2年生タイム チャチュケタイム(5・6スケ) みんなであそぼう わくわく工作 けん玉 中高生タイム(スペシャル) 避難訓練(地震) おもちゃ病院(奇数月担当) じぶんプレイス 青空ひろば	▶手作りのおみくじを作成し新年の日本の文化を体験した。 ▶卓球の勝敗ではなくラリー数で競った。 ・手形・手あそび・節分 ・正月あそび・「うめちゃんタイム」 ・ダブル！トリプル！サスケ ・虫笛工作 ・お餅を焼いてみんなで食べよう(中高生SP) ▶緊急時の対応及び避難経路の確認をし、職員も含め非常時どうすれば良いか再確認する機会となった。 ▶講師の方による不登校、行き渋りの子たちに向けた心と身体を表現するコミュニケーション活動 ・もとまち公園
2月	親子のわ 幼児向け体操 親子でA・SO・BO 親子おはなし会 もっと！まちカフェ 1・2年生タイム チャチュケタイム(5・6スケ) みんなであそぼう わくわく工作 おりょうりしようよ けん玉 中高生タイム(スペシャル) じぶんプレイス 節分あそび ボランティア懇談会 青空ひろば	・ぐるぐるコブター・紙コップパクパク・ひなまつり ・節分あそび・「うめちゃんタイム」・ひなまつり ・大型絵本 ・テクニックサスケ ・たけちゃんとあそぼう2(タケノコワールド) ・アイロンビーズ ・チョコつとバナナ ▶豆に見立てたボールで職員や風船を当てた。 ▶6館合同でボランティアの方たちとの懇談会 ・若松公園

3月	親子のわ 幼児向け体操 親子おはなし会 親子でA・SO・BO もっと！マチカフェ チャチュケタイム(5・6スケ) みんなであそぼう わくわく工作 けん玉 1・2年生タイム 中高生タイム(スペシャル) ゲームタイム 避難訓練(火災) 卓球大会 卒業おめでとう 3DAYS もとまち児童館遠足 すいぞくかんへいこう いづみジョイントライブ おもちゃ病院(奇数月担当)	・新聞玉入れ ・ひなまつりあそび・「うめちゃんタイム」 ・歩数が変わるサスケ ・いろんなドッジボール ・砂絵 ・ボール遊び ・みんなでトッピングしてアイスを食べよう ・カードゲーム大会 ▶火災発生時の対応及び避難経路の確認した。 ▶マッチ戦で勝者を決める卓球大会 ▶卒業した子どもにお菓子と遊びの優先時間をプレゼントした。 ▶利用者の意見で決定した水族館へみんなで行きゲームを楽しむ。 ▶利用者とライブを企画運営する
----	--	--

企画事業年間報告書(学童保育所)

指定業務である放課後児童健全育成事業に関する業務のなかで指定管理費により企画実施する事業(イベントその他)

学童保育年間事業報告

月	名 称	内 容
4月	進級・新入お祝い会 お弁当カード 避難訓練(1年生のみ) 誕生日会 読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> ミニ入所式として、2・3年生の前で1年生の自己紹介を行った。 1年生のみ、保護者へお弁当の感謝の気持ちをメッセージカードで伝えた。 1年生のみ、学童での避難方法や避難場所について、職員から話をした。 誕生児童をみんなでお祝いした。 読み聞かせをマナーを守って楽しんだ。
5月	子どもの日(遊び・おやつ) 工作週間(子どもの日) しいたけ菌うち体験 誕生日会 読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> 季節を感じるおやつをみんなで楽しんだ。 子どもの日の工作でこいのぼりを作った。 椎茸の菌を原木に打ち込む体験をした。 誕生児童をみんなでお祝いした。 読み聞かせをマナーを守って楽しんだ。
6月	工作週間(父の日・母の日) 避難訓練(火災) 誕生日会 読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> メッセージやイラストカードを作り、感謝の気持ちを伝えた。 火災を想定して避難訓練を行った。 誕生児童をみんなでお祝いした。 読み聞かせをマナーを守って楽しんだ。
7月	七夕(飾り・おやつ) 保護者会 誕生日会 読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> 七夕工作で短冊を書いたり、飾りを作つて笹に飾り付けをした。 季節を感じるおやつをみんなで楽しんだ。 日々の保育や夏休みの過ごし方などについて、保護者の方と話す場を設けた。 誕生児童をみんなでお祝いした。 読み聞かせをマナーを守つて楽しんだ。
8月	夏祭り 夏休み工作(うちわ) 夏飾り工作 避難訓練 誕生日会 読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> 夏祭りでヨーヨー、浮かぶおもちゃ釣りをみんなで楽しんだ。 白いうちわに好きなものを描き楽しんだ。 夏にまつわる物を折り紙で作り、飾り付けた。 地震を想定して避難訓練を行つた。 読み聞かせをマナーを守つて楽しんだ。 誕生児童をみんなでお祝いした。
9月	工作週間(プラ板キー ホルダー) お月見おやつ 誕生日会 読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> 好きなキャラクター・動物などを描き楽しんだ。 季節を感じるおやつをみんなで楽しんだ。 誕生児童をみんなでお祝いした。 読み聞かせをマナーを守つて楽しんだ。

10月	所外保育 工作週間(ハロウィン) 避難訓練 誕生日会 読み聞かせ	・武藏国分寺公園に徒歩で行き、交通ルールを学ぶとともにみんなで楽しく過ごした。 ・ハロウィンの飾りを作つて、学童に飾り楽しんだ。 ・不審者を想定して避難訓練を行つた。 ・誕生児童をみんなでお祝いした。 ・読み聞かせをマナーを守つて楽しんだ。
11月	工作週間(ペン立て) 誕生日会 読み聞かせ	・勤労感謝の日に向け、感謝の気持ちを込めてペン立てを制作した。 ・誕生児童をみんなでお祝いした。 ・読み聞かせをマナーを守つて楽しんだ。
12月	工作週間(クリスマス) しいたけ栽培体験 お楽しみ会 避難訓練 大掃除 誕生日会 読み聞かせ	・松ぼっくりのクリスマスツリーを作つた。 ・農園の方の説明をしつかり聞き、楽しく取り組んでいた。 ・子どもたちから色々な出し物があり、全員で楽しみ、当てくじも喜んでいた。学童からのおもちゃや本のプレゼントを楽しんだ。 ・火災を想定して、予告なしの避難訓練を行つた。 ・年末に学童内をみんなで掃除した。 ・誕生児童をみんなでお祝いした。 ・読み聞かせをマナーを守つて楽しんだ。
1月	伝承遊び 干支工作 工作週間(毛糸作品) 誕生日会 読み聞かせ	・福笑いやかるた、けん玉などをして、みんなで昔遊びを楽しんだ。 ・干支の巳をモチーフにした作品に今年の抱負を書いた。 ・手編みのカラフルなマフラーを作つた。 ・誕生児童をみんなでお祝いした。 ・読み聞かせをマナーを守つて楽しんだ。
2月	節分(遊び・おやつ) 学年別会議 避難訓練 誕生日会 読み聞かせ	・なぞなぞや豆つかみゲームに熱中した。行事にちなんだおやつを楽しんだ。 ・学年ごとに、来年度1年生にしてあげられることなどを話し合つた。 ・不審者を想定して、予告なしの避難訓練を行つた。 ・誕生児をみんなでお祝いした。 ・読み聞かせをマナーを守つて楽しんだ。
3月	工作週間(卒所制作) ひな祭り(遊び・おやつ) 卒所式 保護者会 避難訓練 誕生日会 読み聞かせ	・ペーパークラフトペン立てを作つた。 ・季節を感じるおやつを楽しんだ。 ・3年生全員に卒所証書を渡し、拍手や出し物で卒所生のお祝いをした。 ・東日本大震災を経験した職員が震災の話をした。 ・1年間の振り返りや新年度について、保護者の方と話をする場を設けた。 ・誕生児童をみんなでお祝いした。 ・読み聞かせをマナーを守つて楽しんだ。

収支決算書
(令和6年度)

令和6年4月1日 から 令和7年3月31日

施設名	第一・第二東元町学童保育所／もとまち児童館		
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団		
指定管理期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日		

【指定管理業務に係る決算報告】

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B ÷ A)	摘要
指定管理料	63,383,476	63,383,476	100.0%	
利用料金収入	0	0	#DIV/0!	
事業収入(市指定)	0	0	#DIV/0!	
その他の収入	0	924,143	#DIV/0!	放課後児童支援員等処遇改善補助金
実質損失		0		
収入合計	63,383,476	64,307,619	101.5%	予算達成率は、実質損失を控除

2. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B ÷ A)	摘要
人件費				
給与・賃金	38,912,869	36,698,016	94.3%	
社会保険料	5,448,847	4,438,277	81.5%	
手当	1,898,160	1,404,014	74.0%	※
その他	235,600	164,597	69.9%	※福利厚生費
事務費				
消耗品費	912,000	919,510	100.8%	※
印刷製本費	209,000	127,262	60.9%	※
通信費	616,048	395,995	64.3%	※
使用料及び賃借料	673,200	723,844	107.5%	※
保険料	6,000	1,320	22.0%	
研修費	0	0	#DIV/0!	※
その他	341,566	1,654,197	484.3%	※諸手数料、募集費、研修費
管理費				
光熱水費				
電気料金	1,800,000	1,577,356	87.6%	※
ガス料金	367,000	334,579	91.2%	※
上下水道料金	226,000	199,732	88.4%	※
清掃費	1,193,500	1,111,000	93.1%	※
修繕費	33,000	106,590	323.0%	※
警備費	301,800	327,140	108.4%	※
設備保全費				
電気設備保守	162,000	559,900	345.6%	※
消防設備保守	35,200	35,200	100.0%	※
建築設備定期点検	223,000	246,400	110.5%	※
特殊建築物定期点検	0	0	#DIV/0!	※
昇降機定期保守点検	528,000	0	0.0%	※
事業費(市指定)				
副食費	1,498,500	1,464,800	97.8%	※
教材費・行事費	868,500	486,853	56.1%	※
細菌検査	72,600	43,362	59.7%	※
講師料	30,000	10,000	33.3%	※
租税公課	0	200	#DIV/0!	
一般管理費(本社経費)	6,791,086	5,929,620	87.3%	
実質収益		5,347,855		
支出合計	63,383,476	64,307,619	93.0%	予算達成率は、実質収益を控除

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。

消費税課税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。

指定管理業務に係る収支と自主事業に係る収支は分けて記載すること。

一般管理費(本社経費)、租税公課は別に算定根拠を示すこと。

年度途中で予算の補正があった場合は注記すること。

【自主事業に係る決算報告】

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B ÷ A)	摘要
自主事業に係る収入			#DIV/0!	
いちご狩り(もとまちファミリーDAY)	0	0	#DIV/0!	※
もとまちM-1グランプリ	0	0	#DIV/0!	※
もとまち自然体験(小農・ムシムシタイム)	0	0	#DIV/0!	※
夏休み学習広場	0	0	#DIV/0!	※
こくべじおりょうり もとまちファミリーDAY	2,500	600	24.0%	※
夜の児童館体験	0	0	#DIV/0!	※
新春マジックショー & 昔遊び	0	0	#DIV/0!	※
日曜日特別開館	0	0	#DIV/0!	※
ランチボックス	0	0	#DIV/0!	※
ふれあいカフェ	0	0	#DIV/0!	※
キッズプログラミング体験	0	0	#DIV/0!	※
実質損失				
収入合計	2,500	600	24.0%	予算達成率は、実質損失を控除

2. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B ÷ A)	摘要
自主事業に係る支出			#DIV/0!	
いちご狩り(もとまちファミリーDAY)	1,500	1,188	79.2%	※
もとまちM-1グランプリ	0	0	#DIV/0!	※
もとまち自然体験(小農・ムシムシタイム)	5,000	4,332	86.6%	※
夏休み学習広場	0	0	#DIV/0!	※
こくべじおりょうり もとまちファミリーDAY	2,500	1,757	70.3%	※
夜の児童館体験	3,000	5,689	189.6%	※
新春マジックショー & 昔遊び	1,000	0	0.0%	※
もとまち日曜開館(ゆったりSunday)	6,000	1,760	29.3%	※
ふれあいカフェ	30,000	21,422	71.4%	※
ランチボックス	25,000	22,348	89.4%	※
キッズプログラミング体験	40,940	23,373	57.1%	※
配食サービスによる屋食提供	0	0	#DIV/0!	※
実質収益				
支出合計	114,940	81,869	71.2%	予算達成率は、実質収益を控除

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。

消費税課税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。

指定管理業務に係る収支と自主事業に係る収支は分けて記載すること。

※収支計算に対する総括・自己評価

東元町学童で常勤職員の休職、退職が発生し、人材確保のために人材紹介会社利用、印刷機故障による修繕、天井エアコン洗浄における足場設置や人件費高騰のあおりを受けた価格上昇などで、予算を大きく超えてしまった項目がありました。その一方で、工作中に廃材を活用するなど工作費・行事費は抑えられた結果となり、当初予算と大幅に乖離する項目はありますが、総体的には概ね健全な経営状況であったと思います。次年度に向けて、予算の見直しも検討していきます。なお、昇降機保守については故障により定期点検が行われず、費用が発生しませんでした。

【指定期間中の状況】

指定管理期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日
指定管理費 収入総合計額(円)	128,055,442
指定管理費 支出総合計額(円)	122,035,528
指定管理費 総額の上限額(円)	327,065,375

指定期間中の 決算の状況	収入	支出	収支
令和5年度	63,747,823	63,075,764	672,059
令和6年度	64,307,619	58,959,764	5,347,855
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
計	128,055,442	122,035,528	6,019,914

指定期間中の 自主事業の収支状況	収入	支出	収支
令和5年度	0	91,645	-91,645
令和6年度	600	81,869	-81,269
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
計	600	173,514	-172,914

【一般管理費（本社経費）, 租税公課の算定根拠】

令和6年度 第一・第二東元町学童保育所/もとまち児童館

当該施設経費額	53,030,144
法人他施設経費額	15,606,695,359
法人総経費額	15,659,725,503

当該施設の経費率	0.34%
----------	-------

法人運営維持費	1,744,005,849
---------	---------------

当該施設の法人運営維持費負担額	5,929,620
-----------------	-----------

※法人経費科目内訳及び法人運営維持費科目内訳は別紙添付

※本社経費, 租税公課の科目内訳も記載すること。

【記入例】

当該施設経費	20,000,000円
他施設1経費	18,000,000円
他施設2経費	24,000,000円
他施設3経費	24,000,000円
他施設4経費	14,000,000円
本社経費	5,000,000円
総額	105,000,000円

(内訳) 人件費, 採用費, 研修費, 租税公課, 減価償却費, 広告費を計上。

(算定)

- ・按分率：当該施設経費20,000,000円 / (総額105,000,000円-本社経費5,000,000円) = 0.2
- ・当該施設の本社経費：5,000,000円 × 0.2 = 1,000,000円

決 算 報 告 書

(第3期)

自：2024年4月1日

至：2025年3月31日

労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団

東京都豊島区東池袋1-44-3

池袋ISPタマビル

貸 借 対 照 表

2025年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 6,600,636,809 】	【流動負債】	【 3,492,936,815 】
現金及び預金	3,661,527,682	買掛金	110,290,300
売掛金	2,518,788,123	未払金	1,973,529,046
商品	59,433,570	未払法人税等	58,514,440
原材料	967,532	未払消費税等	385,100
貯蔵品	460,712	未払持分	161,250,000
短期貸付金	6,557,592	未払費用	867,644,039
立替金	135,697,247	前受金	43,503,100
仮払金	116,850,906	預り金	104,107,977
前払費用	24,061,943	給与天引預り金	173,712,813
前払交通費	9,557,384	【固定負債】	【 100,228,762 】
預け金	2,264,826	長期預り金	35,494,486
未収金	79,242,753	仕事おこし預り金	6,540,276
未収収益	336,539	協力債	58,194,000
貸倒引当金	△ 15,110,000		
【固定資産】	【 1,003,850,006 】		
(有形固定資産)	(725,967,721)		
建物	199,555,443		
建物減累額	△ 43,927,450		
建物付属設備	592,425,670		
建物付属設備減累額	△ 274,373,844		
構築物	26,979,260		
構築物減累額	△ 5,471,213		
車両運搬具	133,170,722	負債の部合計	3,593,165,577
車両運搬具減累額	△ 122,367,175		
機械装置	38,245,836		
機械装置減累額	△ 24,528,230		
工具器具備品	106,890,536		
工具器具備品減累額	△ 76,751,560		
一括償却資産	24,386,654		
建設仮勘定	15,345,000		
土地	136,388,072		
(無形固定資産)	(44,068,034)		
ソフトウェア	41,555,473	【組合資本】	【 4,011,321,238 】
電話加入権	207,240	出資金	(2,192,976,089)
水道施設利用権	1,060,103	出資金	2,085,900,000
借地権	475,000	出資預り金	107,076,089
営業権	770,218		
(外部出資その他の資産)	(233,814,251)		
契約保証金	38,545,274	利益剰余金	(1,818,345,149)
外部出資金	4,149,200	利益準備金	2,600,000
敷金	170,469,011	就労創出等積立金	1,300,000
長期前払費用	20,650,766	教育繰越金	1,300,000
		(その他利益剰余金)	(1,813,145,149)
		繰越利益剰余金	1,813,145,149
		(うち当期純利益)	(56,198,582)
資産の部合計	7,604,486,815	純資産の部	4,011,321,238
		負債及び純資産の部合計	7,604,486,815

自 2024年4月1日
至 2025年3月31日

損益計算書

科目	金額	うち収益事業		うち非収益事業	
		円	円	円	円
【事業活動総収入】	【 17,576,903,756 】	【 9,987,336,957 】	【 7,589,566,799 】		
事業収入	4,747,004,129	4,075,698,642	671,305,487		
事業収入非課税	11,253,384,028	5,106,849,913	6,146,534,115		
事業費補助金収入	910,984,167	488,975,878	422,008,289		
処遇改善収入	562,491,114	212,832,256	349,658,858		
授産活動収入	103,077,443	103,017,393	60,050		
福祉拠点収入	9,822	9,822	0		
売上手数料値引	△ 46,947	△ 46,947	0		
【事業活動総費用】	【 15,659,725,503 】	【 8,727,643,502 】	【 6,932,082,001 】		
期首商品棚卸高	12,031,938	12,031,938	0		
商品仕入高	136,644,415	136,621,426	22,989		
期末商品棚卸高	59,433,570	59,433,570	0		
仕入高	(89,242,783)	(89,219,794)	(22,989)		
材料費	164,921,265	123,095,282	41,825,983		
人件費	11,948,486,088	6,629,350,902	5,319,135,186		
外注費	580,821,262	373,461,416	207,359,846		
経費	2,876,254,105	1,512,516,108	1,363,737,997		
事業活動総利益	(1,917,178,253)	(1,259,693,455)	(657,484,798)		
【一般管理費】	【 1,744,005,849 】	【 994,083,335 】	【 749,922,514 】		
法人運営管理人件費	984,367,040	561,089,214	423,277,826		
法人運営管理事務費	759,638,809	432,994,121	326,644,688		
事業利益	(173,172,404)	(265,610,120)	(△ 92,437,716)		
【事業外収益】	【 40,166,678 】	【 38,661,519 】	【 1,505,159 】		
受取利息	2,327,499	1,552,607	774,892		
受取配当金	1,555	1,555	0		
雑収入	31,633,384	31,022,517	610,867		
寄付金収入	6,204,240	6,084,840	119,400		
【事業外費用】	【 30,427,799 】	【 30,277,187 】	【 150,612 】		
寄付金	394,105	329,887	64,218		
雑損失	14,923,694	14,837,300	86,394		
貸倒引当金繰入	15,110,000	15,110,000	0		
経常利益	(182,911,283)	(273,994,452)	(△ 91,083,169)		
【特別利益】	【 59,169,225 】	【 51,604,083 】	【 7,565,142 】		
補助金収入	57,121,208	50,155,080	6,966,128		
固定資産売却益	1,287,611	1,158,068	129,543		
保険金収入	760,406	290,935	469,471		
【特別損失】	【 176,351,510 】	【 137,060,435 】	【 39,291,075 】		
固定資産処分損	6,375,591	5,251,937	1,123,654		
固定資産圧縮損	55,616,126	48,695,998	6,920,128		
災害損失	66,057	2,420	63,637		
契約損失	114,293,736	83,110,080	31,183,656		
税引前当期純利益	(65,728,998)	(188,538,100)	(△ 122,809,102)		
法人税、住民税及び事業税	9,530,416	9,412,342	118,074		
当期純利益	(56,198,582)	(179,125,758)	(△ 122,927,176)		

自 2024年4月1日
至 2025年3月31日

法人運営維持費

科目	金額	うち収益事業	うち非収益事業
		円	円
【法人運営管理人件費】	【 984,367,040 】	【 561,089,214 】	【 423,277,826 】
役員報酬	147,142,914	83,871,461	63,271,453
給与諸手当	565,222,226	322,176,669	243,045,557
雑給	391,000	222,870	168,130
一時金	94,634,300	53,941,551	40,692,749
法定福利費	121,365,072	69,178,091	52,186,981
福利厚生費	33,042,394	18,834,165	14,208,229
通勤費	22,569,134	12,864,407	9,704,727
【法人運営管理事務費】	【 759,638,809 】	【 432,994,121 】	【 326,644,688 】
外注費	22,490,195	12,819,411	9,670,784
廃棄物処理費	333,183	189,914	143,269
謝礼金	2,681,275	1,528,327	1,152,948
研修実習費	34,734	19,799	14,935
システム使用料	106,916,915	60,942,641	45,974,274
地代家賃	199,799,834	113,885,905	85,913,929
車両費	2,933,580	1,672,141	1,261,439
リース料	7,808,958	4,451,107	3,357,851
修繕費	2,040,431	1,163,045	877,386
保守管理費	40,224,323	22,927,864	17,296,459
レンタル料	1,278,665	728,839	549,826
水道光熱費	11,460,055	6,532,231	4,927,824
器具備品費	3,369,127	1,920,403	1,448,724
減価償却費	11,472,360	6,539,245	4,933,115
慶弔費	162,469	92,607	69,862
印刷費	6,613,035	3,769,430	2,843,605
事務消耗品費	5,507,962	3,139,538	2,368,424
通信費	12,173,744	6,939,034	5,234,710
諸手数料	4,118,382	2,347,478	1,770,904
支払保険料	3,224,939	1,838,216	1,386,723
租税公課	113,598,348	64,751,058	48,847,290
諸会費	5,761,217	3,283,893	2,477,324
採用費	6,983,454	3,980,569	3,002,885
涉外費	1,231,983	702,231	529,752
広報宣伝費	1,896,850	1,081,205	815,645
新聞図書費	2,637,244	1,503,229	1,134,015
会議費	12,982,549	7,400,053	5,582,496
集会費	3,436,094	1,958,573	1,477,521
教育研修費	5,333,767	3,040,247	2,293,520
管理諸費	3,971,500	2,263,755	1,707,745
旅費交通費	42,028,016	23,955,970	18,072,046
総会費	2,151,724	1,226,483	925,241
ソフトウェア償却費	9,147,727	5,214,204	3,933,523
事業開発推進費	19,920,323	11,354,584	8,565,739
赴任費	6,493,847	3,701,492	2,792,355
雑費	20,000	11,400	8,600

自 2024年4月1日
至 2025年3月31日

法人運営維持費

科目	金額		
		うち収益事業	うち非収益事業
連合会費	円 77,400,000	円 44,118,000	円 33,282,000
一般管理費	(1,744,005,849)	(994,083,335)	(749,922,514)

自
至
2024年4月1日
2025年3月31日

事業原価報告書

科目	金額		
		うち収益事業	うち非収益事業
期首原材料棚卸高	836,128	674,267	161,861
材料費	165,052,669	123,149,901	41,902,768
期末原材料棚卸高	967,532	728,886	238,646
材料費	(164,921,265)	(123,095,282)	(41,825,983)
期首商品棚卸高	12,031,938	12,031,938	0
商品仕入高	136,644,415	136,621,426	22,989
期末商品棚卸高	59,433,570	59,433,570	0
仕入高	(89,242,783)	(89,219,794)	(22,989)
仕入・材料費合計	(254,164,048)	(212,315,076)	(41,848,972)
給与諸手当	9,459,783,998	5,368,602,221	4,091,181,777
雑給	9,862,315	8,563,120	1,299,195
一時金	839,665,319	423,667,907	415,997,412
利用者賃金	0	0	0
法定福利費	1,321,538,603	738,911,387	582,627,216
福利厚生費	25,733,522	14,020,469	11,713,053
通勤費	291,902,331	174,122,436	117,779,895
共通人件費	0	△ 98,536,638	98,536,638
人件費合計	(11,948,486,088)	(6,629,350,902)	(5,319,135,186)
外注費	320,405,804	193,528,502	126,877,302
利用者工賃	65,566,352	65,553,981	12,371
人材派遣料	75,072,577	42,692,918	32,379,659
廃棄物処理費	13,496,826	6,896,476	6,600,350
謝礼金	94,462,705	58,625,830	35,836,875
研修実習費	1,694,658	1,688,204	6,454
システム使用料	10,122,340	4,475,505	5,646,835
外注費合計	(580,821,262)	(373,461,416)	(207,359,846)
燃料費	6,124,025	2,289,369	3,834,656
衛生管理費	18,247,972	8,055,576	10,192,396
賠償費	462,707	279,453	183,254
副食費	119,951,369	70,864,538	49,086,831
会場費	6,042,674	5,591,562	451,112
教材費	41,410,243	22,843,289	18,566,954
行事費	62,773,276	35,033,704	27,739,572
地代家賃	550,481,862	333,290,843	217,191,019
車両費	83,371,587	49,380,757	33,990,830
リース料	186,249,508	106,751,182	79,498,326
修繕費	78,638,352	14,360,872	64,277,480
保守管理費	125,420,436	32,142,714	93,277,722
レンタル料	68,346,688	55,732,677	12,614,011
水道光熱費	492,930,813	190,058,858	302,871,955
器具備品費	32,679,314	18,237,308	14,442,006
減価償却費	92,950,207	60,087,601	32,862,606
慶弔費	381,240	248,434	132,806
印刷費	51,712,896	33,609,907	18,102,989
事務消耗品費	178,281,574	103,241,247	75,040,327
通信費	134,925,304	87,874,437	47,050,867

事業原価報告書

自 2024年4月1日
至 2025年3月31日

科目	金額	うち収益事業	うち非収益事業
		円	円
諸手数料	35,860,772	19,490,616	16,370,156
支払保険料	77,726,798	48,190,355	29,536,443
租税公課	258,175,146	250,668,567	7,506,579
諸会費	4,754,364	3,107,665	1,646,699
採用費	72,010,190	48,270,098	23,740,092
涉外費	1,700,275	642,621	1,057,654
広報宣伝費	19,396,980	18,323,736	1,073,244
新聞図書費	9,924,766	4,349,895	5,574,871
会議費	3,042,780	1,951,664	1,091,116
集会費	222,008	201,475	20,533
教育研修費	13,071,928	7,565,629	5,506,299
旅費交通費	48,273,285	38,912,056	9,361,229
ソフトウェア償却費	629,800	462,866	166,934
雑費	82,966	70,889	12,077
共通経費	0	△ 159,666,352	159,666,352
経費合計	(2,876,254,105)	(1,512,516,108)	(1,363,737,997)
【事業活動総費用】	15,659,725,503	8,727,643,502	6,932,082,001

附属明細書

1.有形固定資産および無形固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額	減価償却累計額		期末取得原価
						当期償却額	当期償却額	
有形固定資産	建物	157,161,429	126,085,792	83,691,778	199,555,443	43,927,450	9,729,687	155,627,993
	建物付属設備	579,277,567	31,469,015	18,320,912	592,425,670	274,373,844	30,841,621	318,051,826
	構築物	20,994,326	7,890,897	1,905,963	26,979,260	5,471,213	1,482,417	21,508,047
	車両運搬具	137,980,774	15,868,081	20,678,133	133,170,722	122,367,175	5,005,138	10,803,547
	機械装置	36,995,426	1,250,410	0	38,245,836	24,528,230	3,399,781	13,717,606
	工具器具備品	97,652,538	17,654,284	8,416,286	106,890,536	76,751,560	13,484,342	30,138,976
	一括償却資産	22,544,557	25,512,596	8,005,008	40,052,145		15,665,491	24,386,654
	建設仮	19,601,200	0	4,256,200	15,345,000			15,345,000
	土地	136,388,072			136,388,072			136,388,072
定無形固定資産	計	1,208,595,889	225,731,075	145,274,280	1,289,052,684	547,419,472	79,608,477	725,967,721
	ソフトウェア	27,913,000	23,420,000		51,333,000		9,777,527	41,555,473
	電話加入権	207,240			207,240			207,240
	水道施設利用権	1,163,712	68,238		1,231,950		171,847	1,060,103
	計	29,283,952	23,488,238	0	52,772,190	0	9,949,374	42,822,816

附属明細書

2.引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
(流動資産)				
貸倒引当金	0	15,110,000	0	15,110,000
(固定資産)				
貸倒引当金	0	0	0	0
計	0	15,110,000	0	15,110,000

附属明細書

3.販売費および一般管理費の明細

自：令和6年4月1日

至：令和7年3月31日

(単位：円)

科目	金額
【法人運営管理人件費】	
役員報酬	147,142,914
給与諸手当	565,222,226
雑給	391,000
一時金	94,634,300
法定福利費	121,365,072
福利厚生費	33,042,394
通勤費	22,569,134
	984,367,040
【法人運営管理事務費】	
外注費	22,490,195
廃棄物処理費	333,183
謝礼金	2,681,275
研修実習費	34,734
システム使用料	106,916,915
地代家賃	199,799,834
車両費	2,933,580
リース料	7,808,958
修繕費	2,040,431
保守管理費	40,224,323
レンタル料	1,278,665
水道光熱費	11,460,055
器具備品費	3,369,127
減価償却費	11,472,360
慶弔費	162,469
印刷費	6,613,035
事務消耗品費	5,507,962
通信費	12,173,744
諸手数料	4,118,382
支払保険料	3,224,939
租税公課	113,598,348
諸会費	5,761,217
採用費	6,983,454
涉外費	1,231,983

附属明細書

3.販売費および一般管理費の明細

自：令和6年4月1日

至：令和7年3月31日

(単位：円)

科目	金額
広報宣伝費	1,896,850
新聞図書費	2,637,244
会議費	12,982,549
集会費	3,436,094
教育研修費	5,333,767
管理諸費	3,971,500
旅費交通費	42,028,016
総会費	2,151,724
ソフトウェア償却費	9,147,727
事業開発推進費	19,920,323
赴任費	6,493,847
雑費	20,000
連合会費	77,400,000 759,638,809
一般管理費	1,744,005,849

別紙⑤

国分寺市立児童館事業の状況及び実績 令和6年度
令和6年度 4～3月 もとまち児童館

年間延利用数		個人利用(人)	団体数(組)	団体利用人数(人)	市外利用者	合計(人)※併設館は学保含む
	幼児	2860	1	3	1004	2863
	大人	3454	67	289	1354	3743
	小学生	13225	26	225	5535	13450
	中学生	3102	10	35	2102	3137
	15歳～17歳	226	0	0	106	226
	合計	22867	104	552	10101	23419

(除く学保 23419人)

	実施日	行事名 /担当職員名						
			幼児	大人	小学生	中学生	15歳～17歳	合計
企画事業（乳幼児親子対象）	毎週	幼児向け体操 片瓜・海藤・相浦	250	210		4		464
	毎週	親子の「わ」 片瓜・海藤・相浦	144	130		7		281
	毎月	おやこおはなし会 片瓜・海藤・相浦	48	74				122
	毎月	親子でA・SO・BO 片瓜・海藤・相浦	182	158	26			366
	毎月	もっと！マチカフェ 海藤	54	44		3		101
企画事業（小学生以上対象）	毎月	1・2年生タイム 武井・青木・海藤	7	6	79			92
	毎月	チャチュケタイム 武井・青木・海藤			208	5		213
	毎月	5・6スケ※7月～ 武井・青木・海藤		1	89	29		119
	毎月	みんなであそぼう 武井・青木	3	2	299	34		338
	毎月	わくわく工作 長谷川・相浦	17	26	417	7		467
	毎月	けん玉 重水・海藤・武井	16	35	174	6		231
	5月22日・7月18日 12月25日・2月14日	おりょうりしようよ 長谷川・海藤・相浦	3	3	80	5		91
	毎月	中高生スペシャルタイム 武井・青木		2		509	50	561

	5月24日・7月26日 9月26日・11月20日 1月15日・3月13日	避難訓練(地震・不審者・火災) 片瓜・青木	1	2	169	27		199
単 発 事 業	4月1日～6日	春休みスペシャル ～児童館クイズ～ 武井			39			39
	4月3日	春休みスペシャル ～初めてのサスケ～ 武井			38	3		41
	5月7日	1小3年生施設見学 武井・片瓜		4	75			79
	6月19・25日・ 12月20日	利用者協議会 (乳幼児親子) 海藤	17	12				29
	6月23日	もとまちプチフェス 武井・海藤	21	43	64			128
	6月19日 12月27日(&大掃除)	利用者協議会 (小学生以上) 武井	1	1	44	12		58
	7月2～6日	七夕 海藤	3	4	14	1		22
	7月6・13日	カブトムシ・クワガタ ほしい子あつまれ 武井	13	14	15	1		43
	7月12日	早稲田実業学校中等部 職場体験 片瓜				3		3
	7月14日	スライムで遊ぼう 長谷川			14			14
	7月23・25・30日8月 1・6・8・13・15日	チャプチャプしよう 海藤	37	29	6			72
	7月31日	卓球大会 片瓜・青木			13	8		21
	8月14日	ゲームタイムeースポーツ 武井	1	1	18	3		23
	8月14・15日	ムービーDAY 武井		1	27	4		32
	8月23日	東京経済大学常森ゼミ 「だいがくせいとあそぼう」 海藤	5	17	55	10	3	90
	8月25日	さわやか夏まつり 武井・青木	50	72	75	4	2	203
	9月26日	6館合同乳幼児向け行事 「リトミック」 海藤	15	13				28
	9月27日	子どものお店説明会 海藤	2	2	6			10
	10月2・3・4日	4中職場体験 片瓜				3		3
	10月9・18日	ふれあいまつり 子どもスタッフ会議 海藤			17			17
	10月19・20日	ふれあい祭り 職員全員	120	173	275	14		582

10月26日	ハロウインジャンケン 武井・傳野	9	7	27	9		52
10月29日	保健センターミニ相談会 海藤	5	4				9
10月30日	1小2年生見学 武井		4	8			12
10月30日	ハロウインサスケ 武井			32	1		33
11月10日	もとまち収穫体験 武井・海藤	20	22	1			43
11月27日・28・29日	2中職場体験 片瓜				4		4
12月20日	クリスマスサスケ 武井			31			31
12月26日	ゲームタイム マンカラ大会 武井			19	4		23
1月4・6・7日	新春福おみくじ 武井	9	8	88	14		119
1月11日	新春卓球大会 片瓜		1	9	4		14
1月17日	じぶんプレイス 海藤		7	4	4		15
2月3日	節分あそび 海藤	4	4	39			47
2月17日	じぶんプレイス 海藤		7	5	3		15
3月3日	じぶんプレイス 海藤		10	4	3		17
3月15日	もとまち児童館遠足 すいぞくかんへいこう 武井・海藤			20			20
3月22日	ゲームタイム カードゲーム 青木				9		9
3月27日	卓球大会 片瓜			15			15
3月27～29日	卒園・卒業おめでとう 3days 武井			36	3		39
4月8日～6月15日	M-1グランプリ 武井	5	3	209	10		227
4月27日	いちご狩り ～もとまちファミリーDATY 武井	9	16	6			31
5月1日～3月29日	小農＆ムシムシタイム もとまち自然探険 武井						
8月6・13・20・27日	夏休み学習広場 武井			7	9		16

自主事業	9月14日	こくべじおりょうり ～もとまちファミリーDATY 海藤	13	12	18	4		47
	11月30日	夜の児童館探検 武井		42	57	14	1	114
	1月7日	新春マジックショー 昔あそび 武井	4	10	33			47
	5月5日		3	5	7			15
	9月22日	もとまち日曜開館 ゆったりSUNDAY 武井	5	14	26	8	1	54
	2月23日	2月23日は 学童合同スポーツ大会	5	11	27			43

開館日数	298
一日平均(人) (除学保児)	79
一日平均(人) (含学保児)	79

決 裁 欄	課長	係長	館長	担当職員

従事者育成に係る研修計画

従事者育成に係る研修実績報告

1. 従事者育成に係る基本方針

1. 総括

職員のスキル向上を通して、利用者へのサービス向上を図る。また、市・都・法人等が主催・案内する研修を、職員に受講させるとともに、各研修で学んだ事を現場の全職員で共有する。障がい児等の配慮を要する児童の対応についてや、エピペン等の扱い方についての研修に参加し、知識や技術、また対応力の向上に努める。
 総括:職員のスキル向上を通して、利用者へのサービス向上を図ること。また、市・都・法人等が主催・案内する研修を、職員に受講させるとともに、各研修で学んだ事を現場の全職員で共有した。障がい児等の配慮を要する児童の対応についてや、座薬、エピペン等の扱い方についての研修に参加し、知識や技術、また、対応力の向上にも努めた。

2. 年間研修受講予定一覧

分野	研修名	概要	主催者	計画			実績		
				実施時期	参加人数	参加内訳	実施時期	参加人数	参加内訳
学童保育所業務に関するもの	子育ちミーティング(リーダー研修)	子育て分野における話し合いの場「リーダー合宿in西桂」	指定管理事業者(本部研修)	毎月	1名	もとまち児童館 1名 東元町学童 1名	10月13・14日	4名	もとまち児童館 4名
共通—接遇	基礎研修	接遇研修他	指定管理事業者(本部研修)	年2回	未定	各学童保育所新入団者	1月23日	1名	東元町学童保育所 1名
その他業務に関するもの	危機管理研修(コンプライアンス研修)	ハラスメントについて	指定管理事業者(本部研修)	5月	2名	もとまち児童館 1名 東元町学童 1名	4月16日	1名	もとまち児童館 1名
共通—管理者研修	コンプライアンス研修	コンプライアンス「私たちが大切にしたい視点・判断軸を考える」	指定管理事業者(本部研修)	不定期	2名	もとまち児童館 1名 東元町学童 1名	7月9日	1名	もとまち児童館 1名
共通—その他	子どもの発達課題に対する支援	子どもの発達課題について ①発達の特性を知る ②発達に課題がある子との関わり方「ADHD」	指定管理事業者(本部研修)	5月	2名	もとまち児童館 1名 東元町学童 1名	児童館 ①9月12日 ②11月15日 学童 ②11月15日	児童館 ①1名 ②1名 学童 ②2名	①もとまち児童館 1名 ②もとまち児童館 1名 東元町学童保育所 2名
共通—その他	安全衛生推進者研修	安全衛生推進者研修について 「うつ病とストレスチェック」	指定管理事業者(本部研修)	不定期	2名	もとまち児童館 1名 東元町学童 1名	5月28日	3名	もとまち児童館 1名 東元町学童保育所 2名
共通—その他	応急救護研修	AEDの使い方、止血方について 「AEDの使い方、熱中症の対応」	指定管理事業者(施設内研修)	6月	2名	もとまち児童館 1名 東元町学童 1名	6月24日	1名	もとまち児童館 1名
共通—その他	障がい児研修 (三多摩子育ちPJ研修)	障がい児の支援について	指定管理事業者(本部研修)	7月	2名	もとまち児童館 1名 東元町学童 1名	11月15日	3名	もとまち児童館 1名 東元町学童保育所 2名
共通—その他	安全衛生推進者研修	安全衛生推進について 「安全衛生手続きについて・流行性感染症について」	指定管理事業者(本部研修)	9月	2名	もとまち児童館 1名 東元町学童 1名	9月17日	3名	もとまち児童館 1名 東元町学童保育所 2名
共通—その他	子育ち研修 (三多摩子育ちPJ研修)	子育て現場同士の情報共有	指定管理事業者(本部研修)	9月	2名	もとまち児童館 1名 東元町学童 1名	11月15日	4名	もとまち児童館 2名 東元町学童保育所 2名
共通—その他	アレルギー研修	アレルギー・エピペン	指定管理事業者(本部研修)	9月	2名	もとまち児童館 1名 東元町学童 1名	10月28日	3名	もとまち児童館 1名 東元町学童保育所 2名
共通—その他	円卓会議主催研修	親子ひろば関連の学びの場 「防災講座」	その他関係機関	11月	1名	もとまち児童館 1名	11月5日	2名	もとまち児童館 2名

共通—その他	有償講師による研修 「手づくりおもちゃ研修」	※研修PTにより内容は検討中	市	11月頃	2名	もとまち児童館 1名 東元町学童 1名	1月23日予定	1名	もとまち児童館 1名
学童保育所業務に関するもの	子どもの遊び 「手づくりおもちゃ研修」	子どもの遊びについて 「コリントゲームを作って子どもの遊びを体験しよう」	市	11月	2名	もとまち児童館 1名 東元町学童 1名	6月30日	1名	もとまち児童館 1名
学童保育所業務に関するもの	児童館・学童実践事例研修 (東京都放課後児童支援員認定資格研修)	各現場実践事例情報共有 「放課後児童支援員認定資格16科目」	指定管理事業者(施設内研修)	1月	2名	もとまち児童館 1名 東元町学童 1名	児童館 7月1日～4日 学童 ①12月 ②1月・2月	3名	もとまち児童館 1名 東元町学童保育所 2名
共通—その他	プレイリーダー講習会	プレイリーダーの育成	その他関係機関	11月	1名	もとまち児童館 1名	6月30日	1名	もとまち児童館1名
共通—その他	防災シンポジウム	自然災害と地域連携について	市	2月	1名	もとまち児童館 1名	2月予定	1名	もとまち児童館1名
その他業務に関するもの	給与研修	適正配置	指定管理事業者(本部研修)				4月22日	1名	もとまち児童館 1名
共通—個人情報保護	個人情報保護制度研修	個人情報保護制度	市	9月			9月中	7	東元町学童 7名
児童館業務に関するもの	障害児研修	障害児・配慮が必要なお子さんについての報告会	市	9月			9月24日	3名	もとまち児童館 1名 東元町学童保育所 2名
共通—その他	東京ボランティア市民活動センター広報講座	デトロイトマツググループによる講座(zoom)	市				10月15日	1名	もとまち児童館 1名
その他業務に関するもの	地域教育スタートアップ講座	子どもに関わるための特別支援	その他関係機関	11月			11月26日	1	東元町学童保育所 1名
共通—その他	演劇教育ナレッジセミナー	演劇教育とは？	その他関係機関				12月1日	1名	もとまち児童館 1名
その他業務に関するもの	地域教育スタートアップ講座	こどもの遊び環境の変化	その他関係機関	12月			12月3日	1名	東元町学童保育所 1名
共通—その他	コンプライアンス研修	外国人労働者の雇用について	指定管理事業者(本部研修)				12月5日	1名	もとまち児童館 1名
共通—その他	怪我・事故防止研修	怪我・事故防止の意識向上 事故の現状・特徴・対応・観察	市				12月9日	3名	もとまち児童館 1名 東元町学童保育所2名
その他業務に関するもの	地域教育スタートアップ講座	こどもの心のケアとは	その他関係機関	12月			12月10日	1名	東元町学童保育所 1名
その他業務に関するもの	相談支援スキルアップ研修	支援者向け虐待防止	市	12月			12月13日	1名	東元町学童保育所 1名
その他業務に関するもの	市民講演会	子どもの発達理解	市	12月			12月15日	2名	東元町学童保育所 2名
その他業務に関するもの	総務経理研修	経営研修	指定管理事業者(本部研修)				12月16日	4名	もとまち児童館 4名

学童保育所業務に関するもの	アレルギー疾患研修	ぜん息・食物アレルギー対応	東京都	12月			12月20日	1名	東元町学童保育所 1名
児童館業務に関するもの	工作・木工作研修	てづくりおもちゃ研修	市	1月			1月23日	1名	もとまち児童館 1名
児童館業務に関するもの	ブレイリーダー講習会	子どもに必要なのは、遊び？勉強？習い事？	市	2月			2月2日	1名	もとまち児童館
共通—その他	第3回 安全衛生委員会	転倒による労災を防ぐために～自分でできること・ワーカーズがすべきこと～	指定管理事業者(本部研修)	2月			2月13日	1名	もとまち児童館 1名
児童館業務に関するもの	不登校児及び引きこもりの子どもを持つ親の学び及び報告会 (小金井市)	不登校児の心の声に耳を傾ける「表現コミュニケーションワーク ショップの可能性」	その他関係機関				2月13日	1名	もとまち児童館 1名
児童館業務に関するもの	国分寺市立小・中学校PTA 不登校支援懇談会実行委員会	不登校支援懇談会	その他関係機関				2月15日	1名	もとまち児童館 1名
児童館業務に関するもの	こども家庭庁 児童健全育成推進財団 健全育成指導者養成	第10回全国こどもの健全育成リーダー養成セミナー	その他関係機関				2月21日	1名	もとまち児童館 1名
共通—管理者研修	リーガー向け実務研修@三多摩	実務の概要	指定管理事業者(本部研修)				2月26日	1名	もとまち児童館 1名
共通—その他	もとまち公民館 防災シンポジウム	減災防災意識改革講座	市				3月8日	2名	もとまち児童館 2名
その他業務に関するもの	第2回広報講座	Canvaで作る三つ折りリーフレットとアクセスマップ作り	指定管理事業者(本部研修)				3月26日	1名	もとまち児童館 1名